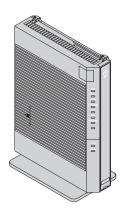
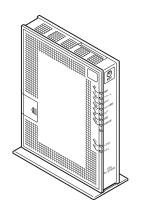
RV-S340SE

取扱説明書

このたびは、RV-S340SEをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
●お読みになった後も、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本書中のマーク説明

■表示の説明

表示	説明
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ !	この表示は、本商品の機能、設定に関する注意事項を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

⚠記号は、注意事項を示しています。

注　　意

発火注意

感電注意

⃠記号は、してはいけない内容を示しています。

禁　　止

火気禁止

風呂等での使用禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

●記号は、実行しなければならない内容を示しています。

電源プラグを抜け

ご使用にあたって

本商品は、クラスＢ情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

【返却される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧の上、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

⚠ 警　告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**

● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

● **本商品に無線LANカードを装着してご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。**
本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

⚠ 警　告

こんなときは

- **発煙した場合**
  万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- **水が装置内部に入った場合**
  万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

- **異物が装置内部に入った場合**
  本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- **電源アダプタの取り扱い注意**
  付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

- **電源アダプタの設置の注意**
  電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
  また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。
  電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
  電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

- **電源コードが傷んだ場合**
  電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

⚠ 警　告

● **電源コードの取り扱い注意**
付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となります。また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

● **延長コード**
電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

● **破損した場合**
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

● **異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合**
本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

禁止事項

● **たこ足配線の禁止**
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

● **商用電源以外の使用禁止**
AC100 V（50/60 Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が２つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接かかわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

⚠ 警　告

● **分解・改造の禁止**
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● **ぬらすことの禁止**
本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

● **異物を入れないための注意**
本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● **本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。**
重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**

● **本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。**
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

● **本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。**
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

⚠注　意

設置場所

● **火気のそばへの設置禁止**
本商品やケーブル類、電源コード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **温度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たる場所や、温度の高い場所（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **温度の低い場所への設置禁止**
本商品を製氷倉庫など特に温度が下がる場所に置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

● **湿度の高い場所への設置禁止**
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所（湿度80％以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **本商品を逆さまに置かないでください。**

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
・毛布や布団をかぶせる

⚠注　意

● **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

● **本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。**

● **屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。**

● **塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● **運用中、本商品は発熱しますので、本商品には長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。**

電源

● **プラグの取り扱い注意**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

⚠ 注　意

- **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
  電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
  清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

- **長期不在時の注意**
  長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

- **拡張カードスロットの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および挿入したカードが故障することがあります。**

- **本商品の電源アダプタ（電源プラグ）の抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10秒以上空けてから差し込んでください。**

その他のご注意

- **移動させるときの注意**
  移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- **雷のときの注意**
  落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
  落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
  雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

- **火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。**

- **本書にしたがって接続してください。**
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

- **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような場所への設置は避けてください。**
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・特定無線局や移動通信体のある屋内
  - ・盗難防止装置など 2.4 GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本商品は、縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。**
  また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用し、背面が下になるように設置してください。
  転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。
- **本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)**
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1 m以上離してお使いください。**
- **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**

STOP お願い

● 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

● 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

● 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

● 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

● 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。

● 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。なお、中性洗剤を含ませた布でふく場合に、コネクタやケーブル類に中性洗剤が付着しないように、注意してください。もし付着した場合は、乾いた布でよくふき取った後、十分に乾燥させてください。

● 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報漏洩などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話ができません。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。

- 「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定、電話機からの設定、ひかり電話に対応したIP端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- 「Web設定」、電話機からの設定により、ひかり電話に対応したIP端末やパソコンなどの通信が切断される場合があります。LAN側の設定や無線設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）
- 本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯に合わせて、自動的にファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新機能の詳細については、本書の「6章 本商品のバージョンアップ」よりご確認ください。なお、ファームウェアの自動更新について、以下の点にご注意ください。
  - ・ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。
  - ・ファームウェアの更新中（1分程度）は、ひかり電話がご利用になれません。緊急通報などもご利用になれませんのでご注意ください。
  - ・ファームウェアの更新中（1分程度）は、すべての接続が切断されます。インターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスをご利用中に、ファームウェアの更新が実行される場合がありますので、ご注意ください。
  - ・ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 最大 100 Mbps（規格値）や最大 10 Mbps（規格値）は 100BASE-TX や 10BASE-T の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 300 Mbps（規格値）や最大 54 Mbps（規格値）、最大 11 Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- IEEE802.11a（W52）の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- IEEE802.11a（W52）は 5.2 GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11n を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の暗号化を「なし」、「WPA-PSK（AES）」または「WPA2-PSK（AES）」（推奨）に設定する必要があります。

電波に関するご注意

(SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI または SC-40NE のいずれかをご利用の場合にお読みください)

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品を IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3.その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品を IEEE802.11a で利用時は、5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品 (*1) (*2) は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
  - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生する場所（電子レンジ付近など）
  - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - ・異なる階の部屋同士
- 本商品 (*1) (*2) と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、データ転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品 (*1) (*2) をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品 (*1) (*2) を 5.2GHz 帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により 5.2GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz 帯の電波を無効にしてください。
- 本商品 (*1) (*2) は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・本商品 (*1) (*2) を分解／改造すること
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11n を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- 本商品 (*1) (*2) は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品 (*1) (*2) は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

本商品 (*1) (*2) に表示した [2.4 DS/OF 4 ▬ ▬ ▬] は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
▬ ▬ ▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品 (*1)」はここでは、SC-32SE または SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI 装着時を示します。「本商品 (*2)」は SC-40NE 装着時を示します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ………………………… **2**
ご利用前の注意事項 ………………………… **13**
目次 ………………………… **18**
マニュアルの読み進めかた ………………………… **21**
「RV-S340SE 機能設定ガイド」に収録された電子マニュアルの見かた ………… 22
「機能詳細ガイド」目次 ………………………… **23**

1章　最初に確認する

1-1　セットを確認してください ………………………… **1-2**
RV-S340SE（本体が黒色）の場合 ………………………… 1-2
RV-S340SE（本体が灰色）の場合 ………………………… 1-3
1-2　各部の名前 ………………………… **1-5**
1-3　あらかじめ確認してください ………………………… **1-8**
パソコンの準備 ………………………… 1-8
対応 OS の確認と Web ブラウザの準備 ………………………… 1-8

2章　本商品を設置する

2-1　設置・接続 ………………………… **2-2**
本商品を設置する ………………………… 2-2
スタンドを付けて、縦置きにする ………………………… 2-2
スタンドを用いて、壁掛けにする ………………………… 2-3
スタンドを用いずに、壁掛けにする ………………………… 2-5
回線に接続する ………………………… 2-7
電話機をひかり電話のみで接続する場合 ………………………… 2-7
アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA をひかり電話
以外でも使用する場合 ………………………… 2-9

3章　ひかり電話の使いかた

3-1　ひかり電話の使いかた ………………………… **3-2**
電話のかけかた ………………………… 3-2
電話の受けかた ………………………… 3-3
ひかり電話で発着信できるサービス ………………………… 3-4
接続可否番号一覧 ………………………… 3-4
内線通話 ………………………… 3-5
内線転送 ………………………… 3-5
3-2　ひかり電話の付加サービスを利用する ………………………… **3-6**
キャッチホン ………………………… 3-6
ナンバー・ディスプレイ ………………………… 3-8
発信者情報（番号）の通知について ………………………… 3-9
ダブルチャネル／複数チャネルを利用する ………………………… 3-9
マイナンバー／追加番号を利用する ………………………… 3-10
3-3　ひかり電話のいろいろな使いかた ………………………… **3-11**
内線番号設定 ………………………… 3-11
ひかり電話の電話番号 ………………………… 3-11
キャッチホン・ディスプレイ ………………………… 3-12
割込音通知 ………………………… 3-12

個別着信 …… 3-13
一斉着信 …… 3-13
着信鳴り分け …… 3-13
モデムダイヤルイン …… 3-14
優先着信ポート …… 3-14
指定着信機能 …… 3-16
通話中の相手先からのメディア変更機能 …… 3-17

3-4 パソコンからひかり電話の設定をする …… 3-18

ひかり電話の設定をするには …… 3-18

3-5 電話機からひかり電話の設定をする …… 3-27

電話機からひかり電話の設定をするには …… 3-27

3-6 複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する …… 3-33

ファクスと電話で使い分けたいときには …… 3-33
事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには …… 3-34
2 世帯で電話を鳴り分けて使うには …… 3-35
ひかり電話に対応した無線 IP 端末を利用したいときには …… 3-36
指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに着信させたいときには …… 3-37

４章 インターネット接続の設定をする

4-1 設定の流れ …… 4-2

4-2 パソコンのネットワーク設定（Windows® 7/Windows Vista®）…… 4-3

パソコンのネットワークの設定をする（Windows® 7/Windows Vista®）…… 4-3
パソコンとの接続を確認する（Windows® 7/Windows Vista®）…… 4-4
Web ブラウザの設定をする（Windows® 共通）…… 4-5
JavaScript™ の設定をする（Windows® 共通）…… 4-6

4-3 本商品の設定をする …… 4-8

4-4 インターネットに接続する …… 4-11

4-5 フレッツ・スクウェアに接続する …… 4-12

５章 無線 LAN のご利用について

5-1 無線 LAN のご利用について …… 5-2

本商品に「SC-32SE」「SC-32NE」「SC-32KI」または「SC-32HI」を装着して無線接続をする場合 …… 5-2
本商品に SC-40NE を装着して無線接続をする場合 …… 5-2

5-2 本商品への無線 LAN カードの取り付け …… 5-4

SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI のいずれかをご利用の場合 …… 5-4
SC-40NE をご利用の場合 …… 5-5

5-3 パソコンへ無線 LAN カードの設定をする …… 5-6

インストール …… 5-6
インストール完了の確認 …… 5-8

5-4 パソコンに装着した無線 LAN カードとの無線 LAN の設定をする（無線 LAN 簡単接続機能）…… 5-10

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）…… 5-10
電話機から設定する …… 5-11
「Web 設定」で設定する …… 5-12

5-5 ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）…………5-14
「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）…………5-14
電話機から設定する…………5-16
「Web設定」で設定する…………5-18
5-6 Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）…5-20
「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）…………5-20
電話機から設定する…………5-23
「Web設定」で設定する…………5-26
5-7 電話機から無線LANの設定を変更する…………5-29

6章 本商品のバージョンアップ
6-1 本商品のバージョンアップの流れ…………6-2
6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする…………6-3
バージョンアップお知らせ機能の機能概要…………6-3
バージョンアップ実行時期を設定する…………6-4
6-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードして
バージョンアップする…………6-6
「Web設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］
からファイルを指定してバージョンアップする…………6-6
6-4 ファームウェア情報を確認する…………6-8
本商品のファームウェアバージョン、ファームウェア更新種別を
確認する…………6-8

7章 故障かな？と思ったら
7-1 設置に関するトラブル…………7-2
7-2 ご利用開始後のトラブル…………7-7

8章 付録
8-1 パソコンのネットワーク設定…………8-2
Windows® XPをご利用の場合…………8-3
Mac OS Xをご利用の場合…………8-5
JavaScript™の設定をする（Mac OS X）…………8-6
8-2 ひかり電話用無線IP電話機などの設定をする…………8-7
8-3 設定値の保存・復元…………8-8
設定値の保存…………8-8
設定値の復元…………8-8
8-4 本商品の初期化…………8-10
8-5 ひかり電話以外のサービスとの同時利用方法について…………8-11
「フレッツのIP-VPNサービス」との同時利用方法について…………8-11
050IP電話との同時利用方法について…………8-12
8-6 電話機からの設定一覧…………8-14
8-7 用語集…………8-16
8-8 索引…………8-22
8-9 仕様一覧…………8-24

●お客様サポートについて…………裏表紙

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

●最初にお読みください
本商品の接続、ひかり電話、インターネット、無線LANの設定をわかりやすく説明しています。

●取扱説明書（本書）
本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●機能詳細ガイド（CD-ROM：HTMLファイル）
本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■取扱説明書（本書）の読み進めかた

本商品を使用してひかり電話をご利用になり、インターネットに接続するまでの流れは、下記のようになります。
無線LANを利用する場合は「5章　無線LANのご利用について」を参照してください。

付属品の確認をします
「1-1　セットを確認してください」

▼

取り付けます
「2章　本商品を設置する」

▼

ひかり電話を利用します
「3章　ひかり電話の使いかた」

▼

インターネットに接続します
「4章　インターネット接続の設定をする」

▼

無線LANの設定をします
「5章　無線LANのご利用について」

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。
※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

「RV-S340SE 機能設定ガイド」に収録された電子マニュアルの見かた

1 「RV-S340SE 機能設定ガイド」をパソコンにセットする

2 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

「機能詳細ガイド」目次

付属の「RV-S340SE 機能設定ガイド」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、22 ページをご覧ください。

1. 機能詳細説明

機能一覧
- －電話機能－
  - ひかり電話
- －ルータ機能－
  - NAT
  - 静的 IP マスカレード
  - 静的 NAT
  - LAN 側静的ルーティング
  - パケットフィルタリング
  - ステートフル パケット インスペクション
  - DHCP サーバ
  - DNS Proxy
  - UPnP
  - DMZ
  - WAN → LAN 中継機能
- －無線機能－
  - IEEE802.11a 無線 LAN
  - IEEE802.11b 無線 LAN
  - IEEE802.11g 無線 LAN
  - IEEE802.11n 無線 LAN
  - 暗号化
  - MAC アドレスフィルタリング
  - 無線ネットワーク名（SSID）によるセキュリティ機能
  - 無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）
  - マルチ SSID
  - 自動無線チャネル設定
  - デュアルチャネル
  - らくらく無線スタート
  - 無線 LAN 簡単接続機能
  - ポートセパレート
  - Super AG
  - 省電力機能
  - マルチキャスト伝送速度設定
  - 無線優先制御（WMM）
  - 電波強度測定
- －WAN 側機能－
  - PPPoE ブリッジ
  - PPPoE マルチセッション
  - 無通信監視タイマ
  - VPN パススルー
  - PPP キープアライブ
- －その他の機能－
  - 機器設定用パスワードの変更
  - ファームウェア更新
  - ファームウェア情報表示
  - 情報表示（装置情報、状態表示）
  - アクセスログ

2. 設定例

設定例
- －ブリッジモード－
  - ブリッジモード
  - フレッツ接続ツールのご紹介
- －フレッツ関連－
  - フレッツ・スクウェアを利用するには
- －その他の設定例－
  - ネットワークゲームをするには
  - 外部にサーバを公開するには
    - <サーバとなるパソコンの IP アドレスの設定をする>
      - ・Windows® 7 の場合
      - ・Windows Vista® の場合
      - ・Windows® XP の場合
      - ・Mac OS の場合
    - <本商品の設定>
      - ・「Web 設定」で設定する
  - ファイアウォールを設定するには
  - PPPoE マルチセッション環境でサーバを公開するには

3. Web 設定

「Web 設定」の使いかた
- 起動のしかた
- トップページ
- 設定のしかた
- －基本設定－
  - 接続先設定
- －電話設定－
  - ひかり電話共通設定
  - 内線設定
    - ・内線設定（アナログ端末）
    - ・内線設定（IP 端末）

－無線LAN設定－
無線LAN設定（SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HIをご利用の場合）
無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）
MACアドレスフィルタリング
無線LAN端末設定
無線LAN簡単セットアップ
－詳細設定－
DNS設定
DHCPv4サーバ設定
セキュリティ設定
・SPI設定
・IPv4パケットフィルタ設定
・IPv6パケットフィルタ設定
静的IPマスカレード設定
静的NAT設定
LAN側静的ルーティング設定
高度な設定
－メンテナンス－
機器設定用パスワードの変更
時刻設定
設定値の保存＆復元
設定値の初期化
ファームウェア更新
PINGテスト
機器再起動
UPnP NAT情報消去
－情報－
現在の状態
障害ログ
通話ログ
・発信履歴
・着信履歴
・内線履歴
DHCPクライアント取得情報
DHCPv4サーバ払い出し状況
DHCPv6サーバ払い出し状況
更新ログ
通信ログ
経路情報取得ログ
セキュリティログ
UPnPログ
UPnP CPテーブル
UPnP NAT設定情報
無線LAN情報

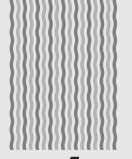
4. 無線機能の使いかた

無線機能の使いかた
無線LANカードの使いかた
無線セキュリティ
〈「Web設定」で設定する〉
－無線LAN設定－
無線LAN設定（SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HIをご利用の場合）
無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）
MACアドレスフィルタリング
無線LAN端末設定
無線LAN簡単セットアップ

5. ひかり電話の使いかた

ひかり電話の使いかた
本商品に接続できる機器について
アナログ端末を接続するには
IP端末（音声）を接続するには
IP端末（通常）を接続するには
〈「Web設定」で設定する〉
－電話設定－
ひかり電話共通設定
内線設定
・内線設定（アナログ端末）
・内線設定（IP端末）
〈電話機で設定する〉
・電話機からひかり電話の設定をするには

6. その他（付録）

その他（付録）
用語集
電話機からの設定一覧

1 最初に確認する

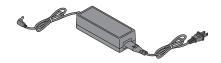
この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

1-1　セットを確認してください……………………1-2
1-2　各部の名前…………………………………………1-5
1-3　あらかじめ確認してください…………………1-8

1-1 セットを確認してください

RV-S340SE（本体が黒色）の場合

■本体

RV-S340SE（1 台）

スタンド（1 台）

■付属品

LAN ケーブル（1 本／約 2m ／緑色）

電源アダプタ（1 式）

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

取扱説明書
（本書 1 冊）

最初にお読みください
（1 枚）

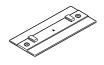
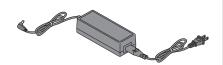
RV-S340SE
機能設定ガイド（1 枚）

壁掛け設置用ネジ
（2 本／ 16mm）

モジュラーケーブル VDSL LINE 用
（1 本／約 3m ／灰色）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
●イラストと形状が異なる場合があります。

RV-S340SE（本体が灰色）の場合

■本体

RV-S340SE（1 台）

スタンド（1 台）

■付属品

LAN ケーブル（1 本／約 2m ／緑色）

電源アダプタ（1 式）

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

取扱説明書
（本書 1 冊）

最初にお読みください
（1 枚）

RV-S340SE
機能設定ガイド（1 枚）

壁掛け設置用ネジ
（2 本／ 16mm）

壁掛け用ネジ
位置合わせシート（1 枚）

モジュラーケーブル VDSL LINE 用
（1 本／約 3m ／灰色）

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- イラストと形状が異なる場合があります。

■お客様にご用意いただくもの

＜ひかり電話のご利用に必要なもの＞

●電話機

●開通のご案内

※電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「⊛」や「⊕」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。

※ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用できません。

※電話機コードもご準備ください。

＜インターネット接続および、設定変更に必要なもの＞

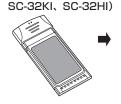
●LANポートを持ったパソコン

●プロバイダの設定情報

＜パソコンとの無線LAN接続に必要なもの＞

【本商品側に必要なもの】

[IEEE802.11b/g/nをご利用の場合]
●無線LANカード
（SC-40NE）※1

[IEEE802.11a/b/gをご利用の場合]
●無線LANカード
（SC-32SEまたはSC-32NE、SC-32KI、SC-32HI）

※本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

【パソコンで無線LANカードご利用の場合に必要なもの】

●無線LANカード
（SC-32SEまたはSC-32NE、SC-32KI、SC-32HI）※2

●無線LANカード付属のCD-ROM（橙）
（SC-32SEまたはSC-32NE、SC-32KI、SC-32HI）※3

●CardBus対応のPCカードスロット、CD-ROMドライブ（または外付けCD-ROMドライブ）を持ったパソコン

※1　本商品で「SC-40NE」をご利用になる場合は、11N-ADPの装着が必要となります。詳しくは、「5-2 本商品への無線LANカードの取り付け」（☛5-4ページ）を参照してください。

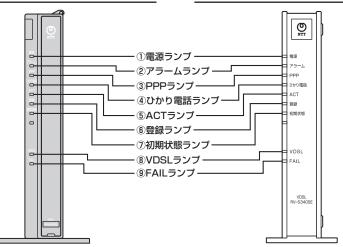
※2　無線LAN端末として使用するパソコンなどに装着して使用します。OSはWindows® 7 32ビット(x86)版、Windows Vista®（SP2）32ビット(x86)版およびWindows® XP(SP3)に対応しています。64ビット(x64)版OS、Mac OSには対応しておりません。
無線LANカード（SC-32SEまたはSC-32NE、SC-32KI、SC-32HI）は、IEEE802.11b/g(2.4 GHz帯域)、IEEE802.11a（5.2 GHz帯域）に対応しています。5.3 GHz帯、5.6 GHz帯ではご利用いただけません。また本商品（本体側）にSC-40NEを装着した場合、無線LANカードでIEEE802.11aはご利用いただけません。

※3　最新のプログラムはフレッツ簡単セットアップツールにて取得してください。

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図

＜RV-S340SE（本体が黒色）の場合＞　　＜RV-S340SE（本体が灰色）の場合＞

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① 電源ランプ	ー	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
② アラームランプ	ー	消灯	正常な状態です。
※「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示については 1-6 ページを参照してください。	赤	点灯	装置障害です。※1 （「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）を参照してください。）
③ PPP ランプ	ー	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	ー	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	ー	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ	ー	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
※「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示については 1-6 ページを参照してください。	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。

ランプの名称	表示（色）		状態
⑦ 初期状態ランプ	ー	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※1※2
		点滅	IPアドレスが重複しています。 （「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-7ページ）を参照してください。）
⑧ VDSLランプ	ー	消灯	VDSL回線の接続動作停止中 または 装置障害です。（「7章　故障かな？と思ったら」（☛7-1ページ）を参照してください。）
	緑	点灯	VDSL回線のリンクが確立しています。
		点滅（低速）	VDSL回線のトレーニング中および回線未接続です。
		点滅（高速）	VDSL回線でデータ通信中です。※3
⑨ FAILランプ	ー	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。（「7章　故障かな？と思ったら」（☛7-1ページ）を参照してください。）

※　節電機能動作時は、アラームランプ、PPPランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

※1　ファームウェアのバージョンアップ中はアラームランプが赤点灯、初期状態ランプが橙点灯します。（本書でのバージョンアップとは、本商品のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。）

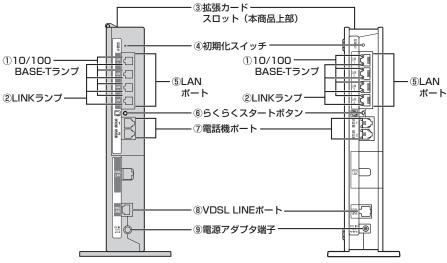
※2　本商品が工場出荷状態（初期状態ランプ橙点灯）でも、電源を入れた後、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web設定」を行うと初期状態ランプは消灯します。

※3　ご使用の機器によりランプ状態が異なる場合があります。

【「無線LAN簡単セットアップ」実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線LAN簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線LAN簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯（10秒間）	「無線LAN簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅（10秒間）	「無線LAN簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図

< RV-S340SE（本体が黒色）の場合>　　< RV-S340SE（本体が灰色）の場合>

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① 10/100BASE-T ランプ（4個）	―	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ（4個）	―	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③拡張カードスロット	―	無線 LAN カード（SC-40NE または SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI）を装着します。（☛5-4 ページ）
④初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑤LAN ポート	LAN1 ～ LAN4	LAN ケーブル（付属品など）を使用してパソコンと接続するためのポートです。
⑥らくらくスタートボタン	らくらく スタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑦電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。 （電話機コードは付属していません。）
⑧ VDSL LINE ポート	VDSL LINE	VDSL 回線と接続するためのポートです。
⑨電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

1
最初に確認する

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

● LAN ポートの準備
本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LAN ポート（100BASE-TX または 10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどに LAN ポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備ください。LAN ボードまたは LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、LAN ボードまたは LAN カードの取扱説明書などにしたがって正しく行ってください。

● ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了
本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたままでいると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

フレッツ接続ツールをご利用になっていた場合、フレッツ接続ツールのアンインストールを実施してください。

● 無線 LAN をご利用になるには
本商品に装着する無線 LAN カードとして SC-40NE または SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI が必要です。
パソコンに装着する無線 LAN カードとしては SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI が必要です。

対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

本商品は下記の OS に対応しています。
・本商品の LAN ポートに接続する場合
Windows® 7、Windows Vista®（SP2）および Windows® XP（SP3）、
Macintosh（Mac OS X 10.6 以下）
・パソコンに専用無線 LAN カード（SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI または SC-32HI）を装着して本商品に接続する場合
Windows® 7、Windows Vista®（SP2）および Windows® XP（SP3）の
各日本語版かつ 32 ビット（x86）版

本書では、Web ブラウザでの設定方法を説明します。
Web ブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。（2012 年 6 月現在）
　Windows® 7 の場合
　・ Internet Explorer® 8 に対応
　Windows Vista®（SP2）の場合
　・ Internet Explorer® 7/8 に対応
　Windows® XP（SP3）の場合
　・ Internet Explorer® 6(SP2/SP3)/7/8 に対応
　Macintosh（Mac OS X 10.6 以下）の場合
　・ Safari 3/4 に対応

　※本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter の日本語版かつ 32 ビット(x86)版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット(x86)版または 64 ビット(x64)版の略として使用しています。
　※Windows Vista®は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット(x86)版の略です。

● Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。（☛4-5 ページ）

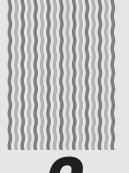
● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効にしてください。（Windows® の場合 ☛4-6 ページ、Mac OS X の場合 ☛8-6 ページ）

● ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］を選択してください。（☛4-5 ページ）

● お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

● Web ブラウザの「戻る」、「進む」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

● Mac OS で Safari をご利用の場合、「テキストのみ拡大／縮小」にチェックを入れないと正しく表示できないことがあります。

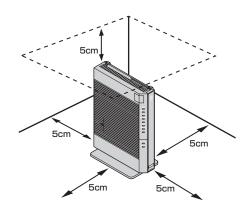
※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

2 本商品を設置する

本商品の設置・接続をします。

2-1　設置・接続 ……………………………………… 2-2

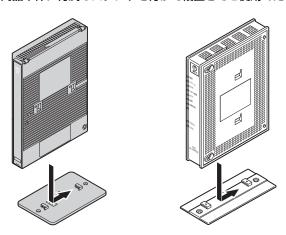
2-1 設置・接続

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。（壁掛けの場合は除く）

> ⚠ 注 意
>
> **換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。**

冷蔵庫やTVなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

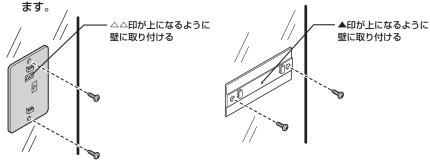
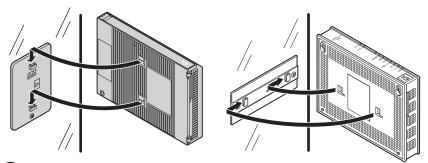
スタンドを付けて、縦置きにする

図のように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。

⚠ 注 意	本商品は横置きでのご使用はできません。

スタンドを用いて、壁掛けにする

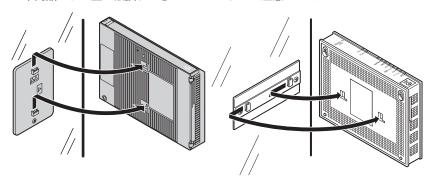
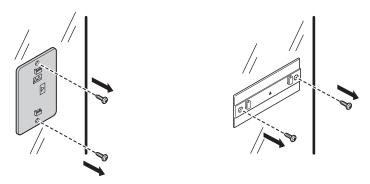
■取り付けかた

スタンドを使用して壁に取り付けます。
あらかじめスタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを壁に取り付けてください。

①付属のスタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付けます。

②本商品を、下図のようにスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

STOP お願い

- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。(☛2-2 ページ)
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などの柔らかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 無線 LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線 LAN カードを装着してください。
- 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。
  重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■取り外しかた

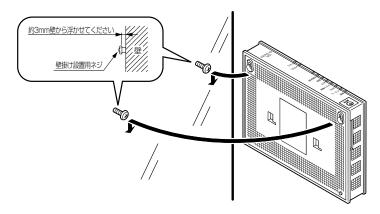
①本商品を下図のようにスライドさせて取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

②付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、付属のスタンドを取り外します。

スタンドを用いずに、壁掛けにする

※ RV-S340SE（本体が灰色）の場合のみです。

■取り付けかた

①あらかじめ付属の壁掛け用ネジ位置合わせシートに合わせて、付属の壁掛け設置用ネジを壁２箇所に取り付けます。このときネジは最後まで締め込まないで壁から約 3mm の隙間を空けて締め込みます。

②壁に途中まで締め込んだネジに本商品を背面が下になるように取り付けます。本商品側面にある取り付け穴をはめ込み、上側から下側に向けてスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

壁掛け後に本商品がガタつくようでしたら、本商品を壁から外して壁に取り付けたネジを再度締め込み、本商品がガタつかないように調整してください。

お願い

●壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。（☛2-2 ページ）

●壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。

●壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。

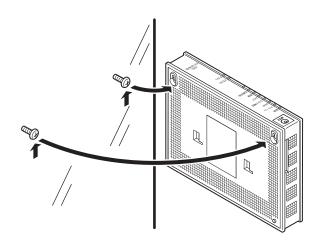
●本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などの柔らかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。

●無線 LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線 LAN カードを装着してください。

●本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。
重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■取り外しかた

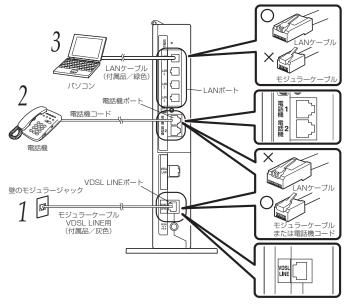
①壁に途中まで締め込んだネジから本体を取り外します。下側から上側に向けてスライドさせて取り外します。
このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

②付属の壁掛け設置用ネジを取り外します。

回線に接続する

※RV-S340SE（本体が黒色）の場合を例にして説明しています。イラストと形状が異なる場合があります。

本商品を回線に接続します。
ご使用の環境によって接続方法が異なります。ご使用の環境にあわせて接続してください。

- **●電話機をひかり電話のみで接続する場合（☛ 下記）**
- **●アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA をひかり電話以外でも使用する場合（☛2-9 ページ）**

電話機をひかり電話のみで接続する場合

1 壁のモジュラージャックと接続する

本商品の VDSL LINE ポートと壁のモジュラージャックを、モジュラーケーブル VDSL LINE 用（付属品／灰色）で接続します。

2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。
※ご利用にはひかり電話サービスのご契約が必要です。

3 パソコンを接続する

本商品のLAN ポートとパソコンを、LAN ケーブル（付属品／緑色）で接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

（次ページに続く）

4 電源アダプタのコードを接続する

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

6 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））
※ひかり電話サービスのご契約がお済みでない場合はひかり電話ランプは消灯のままとなります。

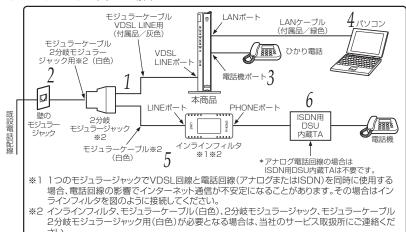
最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛6-3 ページ）を参照してください。）

お知らせ

- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊢」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用できません。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ●ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプ、VDSLランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「7章　故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。

アナログ電話機またはISDN用DSU内蔵TAをひかり電話以外でも使用する場合

〈1つのモジュラージャックでVDSL回線と電話回線（アナログまたはISDN）を同時に使用する〉

RV-S340SE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
デザインがイラストと異なる場合があります。

1　2分岐モジュラージャックを接続する

本商品のVDSL LINEポートと2分岐モジュラージャックを、モジュラーケーブルVDSL LINE用（付属品／灰色）で接続します。

2　壁のモジュラージャックと接続する

2分岐モジュラージャックに接続されているモジュラーケーブル2分岐モジュラージャック用（白色）を、壁のモジュラージャックと接続します。

3　ひかり電話として利用する電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。
※ご利用にはひかり電話サービスのご契約が必要です。

4　パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンを、LANケーブル（付属品／緑色）で接続します。
パソコン、本商品とも電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合は、パソコンの接続は必要ありません。

5　インラインフィルタを接続する

2分岐モジュラージャックとインラインフィルタのLINEポートを、モジュラーケーブル（白色）で接続します。

6　アナログ電話機を接続する

<ISDN用DSU内蔵TAと同時に利用>
　インラインフィルタのPHONEポートをISDN用DSU内蔵TAと接続し、ISDN用DSU内蔵TAとアナログ電話機を接続します。
<アナログ電話機と同時に利用>
　インラインフィルタのPHONEポートとアナログ電話機を接続します。

（次ページに続く）

7 電源アダプタのコードを接続する

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	**付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。**

8 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

9 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

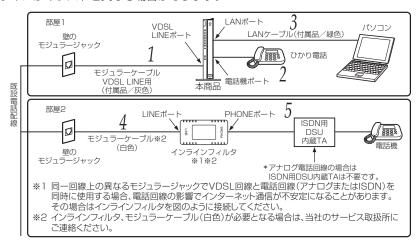
ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））
※ひかり電話サービスのご契約がお済みでない場合はひかり電話ランプは消灯のままとなります。

最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛6-3 ページ）を参照してください。）

お知らせ

●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊜」がついているものをご使用ください。
●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用できません。
●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
●パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
●ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプ、VDSLランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
ランプの状態が異なる場合は、本書の「7章　故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。

〈同一配線上の異なるモジュラージャックでVDSL回線と電話回線（アナログまたはISDN）を同時に使用する〉

RV-S340SE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
デザインがイラストと異なる場合があります。

1 壁のモジュラージャックと接続する

本商品のVDSL LINEポートとひかり電話で使用するモジュラージャックを、モジュラーケーブルVDSL LINE用（付属品／灰色）で接続します。

2 ひかり電話として利用する電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。
※ご利用にはひかり電話サービスのご契約が必要です。

3 パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンを、LANケーブル（付属品／緑色）で接続します。
パソコン、本商品とも電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合は、パソコンの接続は必要ありません。

4 アナログ電話機またはISDN用DSU内蔵TAで使用するモジュラージャックと、インラインフィルタを接続する

アナログ電話機またはISDN用DSU内蔵TAで使用するモジュラージャックと、インラインフィルタのLINEポートをモジュラーケーブル（白色）で接続します。

5 アナログ電話機を接続する

<ISDN用DSU内蔵TAと同時に利用>
インラインフィルタのPHONEポートをISDN用DSU内蔵TAと接続し、ISDN用DSU内蔵TAとアナログ電話機を接続します。
<アナログ電話機と同時に利用>
インラインフィルタのPHONEポートとアナログ電話機を接続します。

（次ページに続く）

6 電源アダプタのコードを接続する

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

7 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

8 ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））
※ひかり電話サービスのご契約がお済みでない場合はひかり電話ランプは消灯のままとなります。

最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛6-3 ページ）を参照してください。）

お知らせ

- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「Ⓣ」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用できません。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ●ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプ、VDSLランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「7章　故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。

3 ひかり電話の使いかた

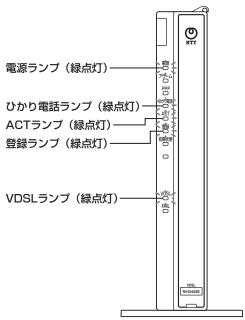
ひかり電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

※本章でご案内する各機能や設定をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

3-1　ひかり電話の使いかた ………………………3-2
3-2　ひかり電話の付加サービスを利用する ……3-6
3-3　ひかり電話のいろいろな使いかた ………3-11
3-4　パソコンからひかり電話の設定をする …3-18
3-5　電話機からひかり電話の設定をする ……3-27
3-6　複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する ………………………3-33

3-1 ひかり電話の使いかた

■ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。

ご注意

本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用はできません。

※本書では、RV-S340SE（本体が黒色）の場合を例にして説明していますが、RV-S340SE（本体が灰色）の場合も設定手順などは同様です。

※節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

電話のかけかた

①本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認します。
②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号をダイヤルします。
　通常通り電話番号をダイヤルすると発信します。
④通話が終わったらハンドセットを置きます。

●指定着信番号を指定して電話をかけるには

相手の方が指定着信番号を設定している場合は、手順③で相手の方の電話番号をダイヤルした後に、㊟、指定着信番号（最大 19 桁）をダイヤルします。

〈例〉0312345678　＊　1234
　　　　↑（電話番号）　　↑（指定着信番号）

指定着信番号の設定方法については、「指定着信機能」（☛3-16 ページ）を参照してください。

お知らせ

- 本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用できません。（「7 章　故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）を参照してください。）
- 本商品に接続した電話機の ACR 機能・ LCR 機能または 0036、0039 など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・ LCR 機能または 0036、0039 など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセットを置いたままダイヤルする機能）を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
- 指定着信番号を指定して電話をかける場合や番号に続けて「#」（シャープ）を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。
  「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて 2 秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
- 左記手順②で「ツー」という音の前に「ピーピーピーピー」という音が聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「＊＊＊11」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。（詳しくは「6 章　本商品のバージョンアップ」（☛6-1 ページ）を参照してください。）

電話の受けかた

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。

②通話が終わったらハンドセットを置きます。

お知らせ

- 「Web 設定」や電話機からの設定、らくらくスタートボタンからの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

・NTT 東日本／西日本の加入電話および ISDN
・国際電話（世界約 200 の国と地域）
・携帯電話、PHS
・IP 電話サービス（050IP 電話サービス）
・他社の提供する 0AB ～ J 電話サービス

接続可否番号一覧

ひかり電話で接続できる番号は以下の通りです。（2012 年 6 月現在）

電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤルなど※1	○
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレドーム	○
0180	テレゴング／データドーム	×
0570	ナビダイヤル	○※2
0800	フリーアクセスなど※1	○
0910	公専接続	×
0990	ダイヤルQ2	×
0990	義援金募集番組※3	○
010	国際通話※4	○
020	ポケベルなど	○※5
050	IP電話	○
070	PHS※6	○
080	携帯電話	○
090	携帯電話	○
100	100番通話※7	×
104	番号案内※8	○
106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）※7	×
108	自動コレクトコール※7	×
110	警察（緊急通報）	○
113	故障受付	○
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116	営業受付	○

電話番号	サービス名など	接続可否
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
134	ダイヤルQ2パスワード	×
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバーアナウンス／ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん／二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	○
144	迷惑電話おことわりサービス	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープ（ボイスワープセレクト機能）	○
148	ナンバー・リクエスト	○
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
165	メール送受信	×
171	災害時伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
184	発信者番号非通知	○
186	発信者番号通知	○

※1 フリーダイヤルなどのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※2 NTTコミュニケーションズ株式会社が提供する「ナビダイヤル」のみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※3 大規模災害発生時に株式会社テレビ朝日が提供する「テレビ朝日ドラえもん募金」、株式会社東京放送ホールディングスが提供する「JNN･JRN共同災害募金」、株式会社フジテレビジョンが提供する「FNSチャリティキャンペーン」をご利用いただけます。
＊「ドラえもん」は株式会社小学館集英社プロダクションの登録商標です。
＊「JNN」「JRN」は株式会社東京放送ホールディングスの登録商標です。
＊「FNS」は株式会社フジテレビジョンの登録商標です。
※4 国際フリーダイヤルなど（「010−800」で始まる番号）には接続できません。
※5 東京テレメッセージ株式会社が提供する020番号を用いたサービス（無線呼出し）にのみ接続可能です。
※6 発信先（相手側）のPHS端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。
※7 「100番通話（100）」、「コレクトコール（106･108）」は、着信もご利用いただけません。
※8 ひかり電話から発信した場合、DIAL104サービス（案内された電話番号にそのまま接続できるサービス）はご利用いただけません。
なお、加入電話･ISDNから発信して、DIAL104サービスにて案内された番号がひかり電話の場合は着信可能です。

ひかり電話で以下の操作はできません

・電気通信事業者を指定した発信（0036など番号の頭に「00XY」を付与する番号）
・シャープダイヤル（♯+4桁の番号サービス）への発信

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

内線通話

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線IP端末、LANポートに接続されたIP端末などを呼び出して、通話することができます。

①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-22ページ、IP端末 ☛3-25ページ）
③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話に対応した無線IP端末、LANポートに接続されたIP端末などに取りつぎます。

①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-22ページ、IP端末 ☛3-25ページ）
③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
④ハンドセットを置いて転送を実行します。

お知らせ

●同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか1通話です。
●内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
●フッキングとは
　電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ

●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

1. **お話し中に「プップッ･･･」という割込音が聞こえる**

2. **相手の方に伝え、フッキングする**
   最初に話していた方との通話は保留されます。

3. **後からかけてきた方とお話しする**
   最初に話していた方には保留音が流れます。

4. **通話終了後にハンドセットを置く**
   着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。
   ※フッキングでも切り替えができます。

■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホンの動作をします。（注 1）	呼び出し音が聞こえます。
キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネル（☛ 3-9 ページ）の両方のご契約がある場合	2 チャネルとも通話中のとき、上記のキャッチホンの動作をします。（注 1） なお、1 チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※ 1）してください。（注 2）	呼び出し音が聞こえます。（注 3）
ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がある場合	1 チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※ 1）してください。（注 2）	呼び出し音が聞こえます。（注 3）
キャッチホン、ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。（注 4）	話中音が聞こえます。（注 4）

（※ 1）割込音通知は、パソコンまたは電話機から設定できます。
（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-29 ページ）
（注 1）キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定にかかわらずキャッチホンの「プップッ…」という割込音が聞こえます。
（注 2）1 チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
（注 3）1 チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機で着信しないとき、お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側に話中音が聞こえます。
（注 4）内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「プップッ…」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

お知らせ

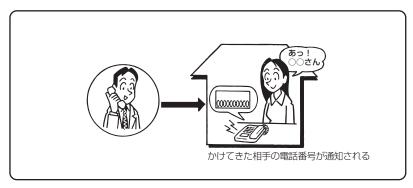
●キャッチホンをご利用いただくには、キャッチホンのご契約が必要です。
●ひかり電話をＢフレッツでご利用の場合は、キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネルのサービスを同時にご契約いただくことができない場合があります。
●キャッチホンサービスやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
●フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1 秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ

●ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信側には話中音が聞こえます。
●複数チャネルサービス「ダブルチャネル／複数チャネル」で割込音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込通知音は動作しません。
他に着信する電話機がない場合は、発信者側には話中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。

かけてきた相手の電話番号が通知される

●**必要な設定**

①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。
（パソコンから設定 ☛3-23ページ、電話機から設定 ☛3-29ページ）
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。

 お知らせ

●ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、ID マーク、cID マーク、ND マークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
●電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
●電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

●発信時のダイヤル操作
　相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。
●ひかり電話ご契約時の内容
　ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+相手先電話番号	186+相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

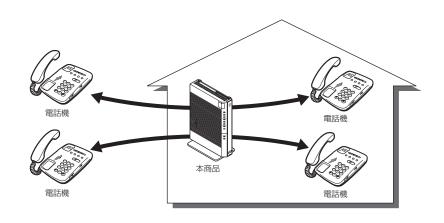
お知らせ

●指定着信機能を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

ダブルチャネル／複数チャネルを利用する

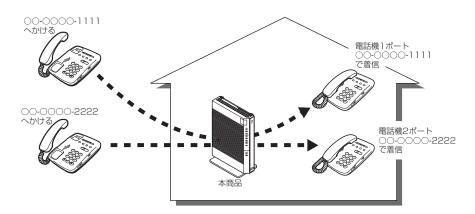
1台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。

ご使用になるには事前にダブルチャネル／複数チャネルのご契約が必要となります。

※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
　「■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて」（☛3-6ページ）をご覧ください。

マイナンバー／追加番号を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。

ご使用になるには事前にマイナンバー／追加番号のご契約が必要となります。

※着信音の鳴り分けにはパソコンまたは電話機からの設定が必要です。（☛3-35 ページ）

3-3 ひかり電話のいろいろな使いかた

内線番号設定

使用する内線番号を「1～9」、「10～99」の1～2桁で設定できます。
内線番号の初期値は、次の通り設定されています。
<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP端末

●設定方法

①「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス(http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合)を開き、メニューの[電話設定]－[内線設定]を選択する
② 編集する内線番号をクリックする
③ [内線設定] 画面で設定する
(アナログ端末 ☛3-22ページ、IP端末 ☛3-25ページ)
設定は電話機からも行えます。(☛3-30ページ)

お知らせ

●本商品に接続可能な端末は最大7台までですので、同時に使用できる内線番号は最大7つまでです。

ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

●確認方法

①「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス(http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合)を開き、メニューの[電話設定]－[内線設定]を選択する
② 編集する内線番号をクリックする
③ [内線設定] 画面の [電話番号設定] で確認する
(アナログ端末 ☛3-23ページ、IP端末 ☛3-26ページ)

キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に、着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
後からかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前に下記のご契約と設定が必要になります。

<table>
<tr><th></th><th>必要なご契約</th><th>必要な設定</th></tr>
<tr><td>ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合</td><td>・ナンバー・ディスプレイ
・キャッチホン</td><td>・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-29、3-30 ページ）</td></tr>
<tr><td>ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせてご利用になる場合</td><td>・ナンバー・ディスプレイ
・ダブルチャネル／複数チャネル</td><td rowspan="2">・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-29、3-30 ページ）
・割込音通知を「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-23 ページ、電話機から設定 ☛3-29 ページ）</td></tr>
<tr><td>ナンバー・ディスプレイとキャッチホン、割込音通知を組み合わせてご利用になる場合</td><td>・ナンバー・ディスプレイ
・ダブルチャネル／複数チャネル
・キャッチホン</td></tr>
</table>

※ナンバー・ディスプレイ、割込音通知の初期値は「使用する」に設定されています。キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。

お知らせ

●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、 マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。
ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

割込音通知

ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。

●設定方法

① 「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］−［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号をクリックする
③ ［内線設定］画面の［ひかり電話設定］ − ［割込音通知］で設定する（アナログ端末 ☛3-23 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-29 ページ）

お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。

個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

●設定方法

①「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信番号］で着信する電話番号にチェックする
（アナログ端末 ☛3-24ページ、IP端末 ☛3-26ページ）
設定は電話機からも行えます。（☛3-30ページ）

一斉着信

1つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

●設定方法

①「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信番号］で着信する電話番号にチェックする
（アナログ端末 ☛3-24ページ、IP端末 ☛3-26ページ）
④ 着信させたいすべての内線番号について②、③を繰り返して同様に設定する
設定は電話機からも行えます。（☛3-30ページ）

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

●設定方法

①「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信音選択］で着信音を選択する
（アナログ端末 ☛3-24ページ）
設定は電話機からも行えます。（☛3-30ページ）

お知らせ

●着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
●アナログ端末のみで利用できる機能です。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、１台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

●設定方法

①「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス(http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合)を開き、メニューの[電話設定]−[内線設定]を選択する

② 編集する内線番号をクリックする

③［内線設定］画面の［ひかり電話設定］－［モデムダイヤルイン］で設定する
（アナログ端末 ☛3-23ページ）

設定は電話機からも行えます。(☛3-29ページ)

お知らせ

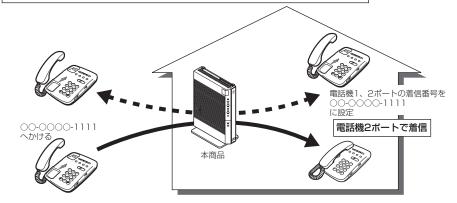
●モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書などをご参照ください。

●アナログ端末のみで利用できる機能です。

優先着信ポート

本商品の２つの電話機ポートに同一の着信番号を設定し、どちらか一方の電話機ポートに優先して着信させる機能です。優先して着信させる電話機ポートを選択します。
優先着信ポートをご利用になる場合、IP端末はご利用になれません。

【電話機１ポートを優先着信ポートに設定した場合】

電話機1が通話中（ハンドセットを取りあげた状態、電話機からの設定を含む）の場合

※ダブルチャネル／複数チャネルをご利用の場合、電話機 1 ポートが通話中にかかってきた電話は、電話機 2 ポートにのみ着信します。

●設定方法

①「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する

②［優先着信ポート］で優先する電話機ポートを選択する（☛3-19 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-29 ページ）

お知らせ

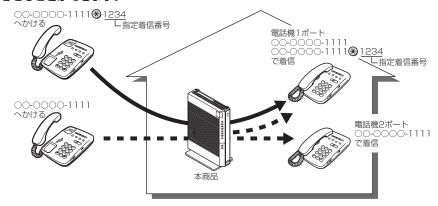
●優先着信ポートを有効に設定する場合は、電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を 1 つ以上設定している必要があります。電話機 1、2 ポートで同一の着信番号を設定しない場合、優先着信ポートの設定は無効になります。

●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。

●優先着信ポートを有効に設定した場合、IP 端末はご利用になれません。IP 端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

指定着信機能を利用することにより、相手の方が電話をかけるときに電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることで、この電話機ポートに接続された電話機だけに着信させせることができます。

●設定方法

①「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］−［内線設定］を選択する

②編集する内線番号をクリックする

③［内線設定］画面の［電話番号設定］で指定着信機能を使用する電話番号の［指定着信機能］−［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に使用する指定着信番号を入力する（☛3-24ページ）

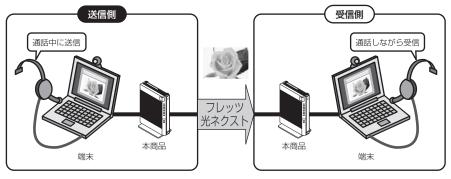
④指定着信番号がある場合とない場合の両方の着信を受け付ける場合には「指定なし着信」にチェックします。（☛3-24ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-30ページ）

お知らせ

- ●アナログ端末のみで利用できる機能です。
- ●指定着信番号で着信した場合には、キャッチホン（☛3-6ページ）はご利用いただけません。
- ●マイナンバー／追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は1つだけです。
- ●指定着信番号は0〜9の任意の数字で、最大19桁となります。
- ●指定着信番号をダイヤルして発信することができる電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話です。なお携帯電話から指定着信番号付きの発信が可能かどうかは、携帯電話事業者により異なります。

通話中の相手先からのメディア変更機能

フレッツ 光ネクストのひかり電話同士で、本商品に接続された端末を用いて通話している場合には、通話しながら専用の帯域を確保して、画像ファイルなど様々な形式のデータを送受信できるようになっています。（端末側でデータの送受信機能に対応している必要があります。）
このお客様がひかり電話同士で通話中に、各種データの送受信を開始する処理のことを、「メディア変更」と呼びます。
本機能では、通話相手からメディア変更の要求を受けたときにそれを許可するか・拒否するかを設定することができます。また、メディア変更を拒否する内容に設定した場合でも、あらかじめ登録した電話番号は、メディア変更を許容するように設定することができます。

●**設定方法**

①「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する
②［通話中の相手先からのメディア変更設定］で、下記のいずれかを選択する
- ・「常に許容する」：通話中の相手からのメディア変更を常に許容し、データの受信を受け付けます。
- ・「発信時のみ許容しない」：本商品から発信した通話の場合は、通話中の相手からのメディア変更を許容せず、データの受信を拒否します。
- ・「常に許容しない」：通話中の相手からのメディア変更を常に許容せず、データの受信を拒否します。

③［設定］をクリックする
④［メディア変更許容電話番号設定画面］をクリックする
※手順②で「常に許容する」を選択している場合は、［メディア変更許容電話番号設定画面］は使用できません。
⑤メディア変更を許容する電話番号を入力し、［設定］をクリックする

お知らせ

●通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。
●設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
●あらかじめ登録した電話番号に対するメディア変更を許可するためには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

3-4 パソコンからひかり電話の設定をする

ひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は、パソコンまたは電話機で行います。パソコンで設定する場合は、本商品に接続されたパソコンのWebブラウザで本商品の「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］、または［内線設定］から行います。

ひかり電話の設定を変更しない場合は、設定の必要はありません。

※はじめて本商品の「Web設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を開いた場合は、本商品の初期設定を行ってください。（☛4-8ページ）

■［ひかり電話共通設定］画面で設定する

1 Webブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を入力し、「Web設定」ページを開く

2 ユーザー名に「user」を、パスワードに「4-3　本商品の設定をする」（☛4-8ページ）手順2で入力した機器設定用パスワードを入力し［OK］をクリックする

!

ユーザー名、パスワードが間違っていた場合は認証エラー画面が表示されます。［トップページへ］をクリックして再度入力してください。

※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

認証エラー

認証に失敗しました。
ユーザ名とパスワードを確認してください。

ファームウェアバージョンは
更新種別は自動【一定量データ通信監視あり】（　）です

トップページへ

3 メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する

4 ［ひかり電話共通設定］画面で設定する

【ひかり電話設定】

①音声優先モード

インターネットとひかり電話を同時に使用する場合に、音声品質を改善するため、音声パケットを優先的に送出する設定をします。
・「なし」　音声優先制御を行いません。
・「優先」　音声パケットを優先処理します。
・「最優先」　音声パケットを最優先で処理します。
・「自動」　WAN 側のリンク速度に応じて自動的に帯域を設定します。
(初期値：なし)

②優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。
・［アナログ端末（電話機 1)］　電話機 1 ポートに接続したアナログ端末に優先的に着信します。
・［アナログ端末（電話機 2)］　電話機 2 ポートに接続したアナログ端末に優先的に着信します。
・「無効」　優先着信ポートが無効に設定されています。
(初期値：無効)
※優先着信ポートを設定する場合は［内線設定］画面で次の設定が必要です。
・［電話設定］－［内線設定］の［内線番号一覧］で［アナログ端末（電話機 1)］と［アナログ端末（電話機 2)］の［利用有無］にチェックしてください。(☛3-21 ページ)
・［電話設定］－［内線設定］の［内線番号一覧］で［IP 端末 1］～［IP 端末 5］の［利用有無］のチェックをすべて外してください。(☛3-21 ページ)
・［電話設定］－［内線設定（アナログ端末)］の［アナログ端末（電話機 1)］と［アナログ端末（電話機 2)］で同一の着信番号を 1 つ以上選択し、［割込音通知］を「使用しない」に設定してください。(☛3-23 ページ)

お知らせ

●音声優先モードは、マンションタイプ（VDSL 方式）でご利用いただく場合のみ音声品質が改善する場合があります。また、音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。

（次ページに続く）

【拡張設定】

③ PING 応答機能	ひかり電話網からの PING に応答する機能を使用する場合にチェックします。 (初期値：使用する)

【通話中の相手先からのメディア変更設定】

④メディア変更	通話中の相手からのメディア変更を許容するかしないかを設定します。 ・「常に許容する」　通話中の相手からのメディア変更を常に許容します。 ・「発信時のみ許容しない」　本商品から発信した通話の場合は、通話中の相手からのメディア変更を許容しません。 ・「常に許容しない」　通話中の相手からのメディア変更を常に許容しません。 （初期値：常に許容する） ※通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。 ※メディア変更を許容しない場合の詳細な設定につきましては、「機能詳細ガイド」を参照してください。

5 ［設定］をクリックする

お知らせ

●【通話中の相手先からのメディア変更設定】は、フレッツ 光ネクストをご利用の場合のみ設定できます。

■［内線設定］画面で設定する

1 「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する

2 ［内線番号一覧］の中から編集する内線番号をクリックする

内線番号を有効にするには、［内線番号一覧］で使用する内線番号の［利用有無］にチェックして、［設定］をクリックします。同時に使用できる内線番号は最大７つまでです。

※初期値は下記の内線番号でアナログ端末／IP 端末の内線設定画面が割り当てられています。内線番号は、内線設定画面で設定した番号に変わります。

＜初期値＞

内線番号	内線設定画面
１～２	アナログ端末
３～７	IP 端末

＜「アナログ端末」の内線番号を選択した場合＞

［内線設定（アナログ端末)］の編集画面で、編集・設定します。（☛3-22 ページ）

＜「IP 端末」の内線番号を選択した場合＞

［内線設定（IP 端末)］の編集画面で、編集・設定します。（☛3-25 ページ）

（次ページに続く）

3 ［内線設定］画面で設定する

【内線設定（アナログ端末）】

【内線設定】

①内線番号　　内線番号を入力します。
「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
（初期値：下記の表を参照）

②ニックネーム　　ニックネームを入力します。
64文字以内の半角英数字および記号（" を除く）が使用できます。
半角スペースのみの設定はできません。
（初期値：下記の表を参照）

＜初期値＞

内線番号	ニックネーム
1	TEL1
2	TEL2

【ひかり電話設定】

項目	説明
③ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。 （ナンバー・ディスプレイについては ☛3-8 ページ ） （初期値：使用する） ※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は［使用する］のチェックを外してください。
④キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイを使用する場合にチェックします。 ナンバー・ディスプレイを［使用する］に設定している場合のみ設定できます。 （キャッチホン･ディスプレイについては ☛3-12 ページ） （初期値：使用しない）
⑤モデムダイヤルイン	モデムダイヤルインを使用する場合にチェックします。 （初期値：使用しない）
⑥割込音通知	複数チャネルサービス「ダブルチャネル／複数チャネル」にご契約の上での通話中や、内線通話中に、電話がかかってきたことを割込音で通知する場合にチェックします。（ダブルチャネル／複数チャネルについては ☛3-9 ページ） （初期値：使用する）
⑦ダイヤル桁間タイマ	電話機からのダイヤル入力を受け付ける時間を設定します。設定できる値は「4～8」（秒）です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に発信するまでの時間が長くなります。 （初期値： 4 秒）
⑧エコー・キャンセラ	エコーやハウリングを防止する機能を使用する場合にチェックします。 （初期値：使用する）

【電話番号設定】

項目	説明
⑨電話番号	ご契約された電話番号（外線）が表示されます。
⑩通知番号	発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。 ※通知番号設定は着信番号に設定している番号のみ設定できます。 ※［通知番号］に設定した電話番号に［指定着信機能］を設定しても相手先に［指定着信番号］は通知されません。 （初期値：契約者回線番号）

（次ページに続く）

⑪着信番号	ご契約された電話番号（外線番号）のうち、この電話機に着信させる電話番号を設定します。着信番号は複数選択できます。 （初期値：すべての電話番号）
⑫指定着信機能	指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に使用する指定着信番号を入力します。（1 ～ 19 桁の数字を入力してください。）指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は［指定なし着信］にチェックします。 ※指定着信機能は電話機 1、2 ポートのどちらかで、かつ、1 つの電話番号（外線番号）でのみ使用できます。他の電話機ポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合には、［使用する］のチェックを外してください。 （初期値：使用しない）
⑬着信音選択	電話番号ごとの着信音、内線着信時の着信音を設定できます。「IR」「SIR」から選択します。 ・「IR」 着信音が「1 秒あり＋2 秒なし」を繰り返します。 （「プルルルー、プルルルー・・・」と鳴ります。） ・「SIR」 着信音が「0.3 秒あり＋ 0.3 秒なし＋ 0.3 秒あり＋2.1 秒なし」を繰り返します。 （「プルルッ、プルルッ・・・」と鳴ります。） （初期値：外線用「IR」、内線用「SIR」）

お知らせ

- ●着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- ●着信音「IR」「SIR」で実際に鳴る音は、お使いになる電話機によって異なります。

【内線設定（IP 端末）】

【内線設定】

①内線番号	内線番号を入力します。 「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁を設定できます。 ※重複した内線番号は設定できません。 （初期値：次ページの表を参照）
②ニックネーム	ニックネームを入力します。 64 文字以内の半角英数字および記号（" を除く）が使用できます。 半角スペースのみの設定はできません。 （初期値：次ページの表を参照）
③端末属性	端末属性を「音声専用端末」、「通常端末」から選択します。 ※接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。接続した端末の機能に合わせて設定してください。 （初期値：通常端末）
④ MAC アドレス	IP 端末の MAC アドレスを手動で設定したい場合に入力します。通常は自動で設定されるため入力は不要です。 （初期値：空欄）
⑤ダイジェスト認証	IP 端末とのダイジェスト認証を行うかどうか選択します。 （初期値：行う）

（次ページに続く）

⑥ユーザID
任意のユーザIDを入力します。
使用できるのは、半角英数字と記号（スペースおよび「”」除く）で最大32文字です。
※ここで設定したユーザIDと同じユーザIDを、接続するIP端末にも設定してください。IP端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。
（初期値：下記の表を参照）

⑦パスワード
任意のパスワードを入力します。
使用できるのは、半角英数字と記号（スペースおよび「”」除く）で最大32文字です。
※ここで設定したパスワードと同じパスワードを、接続するIP端末にも設定してください。IP端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。
（初期値：自動生成（半角８桁））

＜初期値＞

内線番号	ニックネーム	ユーザID
3	IP phone1	0003
4	IP phone2	0004
5	IP phone3	0005
6	IP phone4	0006
7	IP phone5	0007

【電話番号設定】

⑧電話番号
ご契約された電話番号（外線）が表示されます。

⑨通知番号
発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。
※通知番号設定は着信番号に設定している番号のみ設定できます。
（初期値：契約者回線番号）

⑩着信番号
ご契約された電話番号（外線番号）のうち、この電話機に着信させる電話番号を設定します。着信番号は複数選択できます。
（初期値：すべての電話番号）

4 ［設定］をクリックする

5 設定した内線番号の「利用有無」にチェックして［設定］をクリックする

※最大７つの番号までチェックできます。

お知らせ

●本商品に接続するIP端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。

3-5 電話機からひかり電話の設定をする

電話機からひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。

■設定手順

設定手順は次の通りです。次ページの設定例も参考にしてください。

1 ハンドセットを取りあげる

2 電話機のダイヤルボタンで設定項目の番号を押す

設定項目		
＊ ＊ ＊ 9 0	ひかり電話共通設定	➡ 手順４に進む
＊ ＊ ＊ 9 9	内線設定（アナログ端末）	➡ 手順３に進む

3 設定項目が「内線設定（アナログ端末)」の場合は、「ポート番号」を押す

設定項目が「ひかり電話共通設定」の場合は、手順４に進みます。

ポート番号	
1	電話機 1
2	電話機 2

4 「＊ 機能番号 ＊ 設定値 ＃」と押す

〈ひかり電話共通設定の場合〉

機能番号（例）		設定値（例）	
0 0	音声優先モード	1	なし
		2	優先
		3	最優先
		4	自動

〈内線設定（アナログ端末）の場合〉

機能番号（例）		設定値（例）	
9 1	ナンバー・ディスプレイ	1	使用する
		2	使用しない

※内線設定（アナログ端末）において同じ設定項目で複数の設定を行う場合は、手順３に戻って設定します。

※機能番号と設定値については、「■設定一覧」(☛3-29 ページ) を参照してください。

5 すべての設定が終わったら、「＃」と押す

設定が終了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

6 ハンドセットを置く

〈設定例：電話機 1 ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 ハンドセットを取りあげる

2 電話機のダイヤルボタンを

「＊＊＊991＊91＊2##」と押す

設定が終了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置く

お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や、中止した場合は、設定が無効になります。はじめから設定をやり直してください。
- 設定する電話機ポートが使用中の場合は、いったん使用が終了した後、次の発着信から設定が有効になります。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れる場合があります。このとき、電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

■設定一覧

電話機から設定できるひかり電話の設定は次の通りです。
設定手順（☛3-27 ページ）を参考に、左から順に操作します。

※ダイヤルボタンを押す間隔が 30 秒以上あくと、設定が中止されます。

【ひかり電話共通設定】（＊＊＊90）　　※下線 ＿＿＿ は、初期値です。

機能番号	開始操作	＊	機能番号	＊	設定値・設定内容	終了操作
00	音声優先モード（☛3-19 ページ）					
	＊＊＊90	＊	00	＊	①：なし ②：優先 ③：最優先 ④：自動	##
01	優先着信ポート（☛3-19 ページ）※ 1					
	＊＊＊90	＊	01	＊	①：電話機 1 ポート ②：電話機 2 ポート ③：無効	##
02	アナログポート無効化（☛3-31 ページ）※ 1					
	＊＊＊90	＊	02	＊	①：無効 ②：有効	##
	※ 無効に設定される場合は、電話機 1 ポートから操作すると、電話機 2 ポートが無効に設定されます。 ※ 有効に設定される場合は、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートのどちらから操作しても両方の電話機ポートが有効に設定されます。					

【内線設定（アナログ端末）】（＊＊＊99）

● 「内線設定（アナログ端末)」では、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートごとに設定が必要です。
　電話機 1 ポートの設定→ポート番号 ① を押す
　電話機 2 ポートの設定→ポート番号 ② を押す

機能番号	開始操作	ポート番号	＊	機能番号	＊	設定値・設定内容	終了操作
91	ナンバー・ディスプレイ（☛3-8 ページ）						
	＊＊＊99	①または②	＊	91	＊	①：使用する ②：使用しない	##
92	モデムダイヤルイン（☛3-14 ページ）						
	＊＊＊99	①または②	＊	92	＊	①：使用する ②：使用しない	##
93	割込音通知（☛3-12 ページ）※ 1						
	＊＊＊99	①または②	＊	93	＊	①：使用する ②：使用しない	##

（次ページに続く）

機能番号	開始操作	ポート番号 ⊛	機能番号 ⊛	設定値・設定内容	終了操作
94	着信番号（☛3-24ページ）※1				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨④ ⊛	（着信番号）	⌗⌗
	複数の番号を設定する場合は、「⊛（着信番号）」を繰り返して設定します。3-32ページの「お知らせ」を参照してください。				
95	指定着信機能（☛3-16ページ）※1				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑤ ⊛	（着信番号）⊛（指定着信番号）	⌗⌗
96	キャッチホン・ディスプレイ（☛3-12ページ）※2				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑥ ⊛	①：使用する ②：使用しない	⌗⌗
97	ダイヤル桁間タイマ（☛3-23ページ）				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑦ ⊛	④：４秒 ⑤：５秒 ⑥：６秒 ⑦：７秒 ⑧：８秒	⌗⌗
98	エコー・キャンセラ（☛3-23ページ）				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⑨⑧ ⊛	①：使用する ②：使用しない	⌗⌗
00	通知番号（☛3-23ページ）※3				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⓪⓪ ⊛	（通知番号）	⌗⌗
01	内線番号（☛3-11ページ）※4				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⓪① ⊛	（内線番号）	⌗⌗
	※初期値は、電話機１ポート：１、電話機２ポート：２です。				
02	着信音選択（☛3-24ページ）				
	⊛⊛⊛⑨⑨	①または② ⊛	⓪② ⊛	（着信番号）⊛ ①：IR ②：SIR	⌗⌗
	※初期値は、外線用：IR、内線用：SIRです。				

※１　設定する場合は、3-31、3-32ページの「お知らせ」を参照してください。
※２　ナンバー・ディスプレイ表示／非表示機能が有効の場合に設定できます。
※３　通知番号設定は着信番号に設定している番号のみ設定できます。
※４　内線番号の設定は既存の内線番号には設定できません。（初期値：１～７）

お知らせ

●優先着信ポート
・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。
電話機 1、2 ポート　:「利用有無」が「有効」に設定されます。
「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。
すべての IP 端末　　:「利用有無」が「無効」に設定されます。
・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。
①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が設定されていない場合
②電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つ設定されているが、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

●アナログポート無効化
・アナログポート無効化を設定した場合、以下のように設定されます。
電話機 1 ポートから「1」を設定　：電話機 2 ポートの「利用有無」が「無効」に設定され、利用できなくなります。
電話機 2 ポートから「1」を設定　：電話機 1 ポートの「利用有無」が「無効」に設定され、利用できなくなります。
電話機 1 または 2 ポートから「2」を設定：電話機 1 と 2 ポート両方の「利用有無」が「有効」に設定され、利用できるようになります。
・「ひかり電話共通設定（＊＊＊90から入力）」のうち、「優先着信ポート設定（＊01を入力）」と「アナログポート無効化（＊02を入力）」とを同時に設定しようとする場合、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、設定ができません。「優先着信ポート（＊01）」と「アナログポート無効化（＊02）」は個別に設定してください。

●割込音通知
優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込音通知と合わせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。

（次ページに続く）

お知らせ

●着信番号

・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号以外は、着信しない設定になります。

<複数の電話番号を着信番号として設定するには>

複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「＊（着信番号）」を繰り返して設定してください。

（例）電話機１ポートに着信番号「03XXXX1111」「03XXXX2222」を設定する場合

・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。

①着信番号を設定する電話機ポートに指定着信番号が設定されている場合

②着信番号の設定で着信番号を設定しなかった場合

（例）ダイヤルボタンを「＊＊＊991＊94＊##」と押した場合

●指定着信機能

・指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」（指定着信番号なしの着信は着信しない）に設定されます。

・指定着信番号は、電話機１、２ポートで１つの番号でのみ使用できます。

・指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。

・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、指定着信番号の設定ができません。

①電話機１、２ポートで同じ着信番号が１つであり、優先着信ポートが設定されている場合

②指定着信の設定で指定着信番号を設定しなかった場合

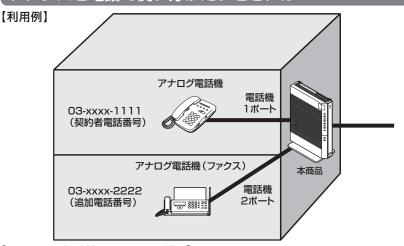
（例）ダイヤルボタンを「＊＊＊991＊95＊（着信番号）＊##」と押した場合

3-6 複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する

ひかり電話の着信は、ご利用の環境に合わせて同時着信や鳴り分けを設定することができます。ここでは、ひかり電話の付加サービスを利用する場合と、指定着信機能を利用して特定のアナログ端末に着信する設定方法について記載します。
設定はパソコンまたは電話機から行います。
設定例を確認後、それぞれの設定方法を参照してください。

●パソコンから設定する場合
「Web 設定」ページメニューの[電話設定]－[内線設定]で［通知番号］［着信番号］［着信音選択］を設定します。「3-4　パソコンからひかり電話の設定をする」（☛3-18 ページ）を参照してください。

●電話機から設定する場合
「3-5　電話機からひかり電話の設定をする」（☛3-27 ページ）を参照してください。

ファクスと電話で使い分けたいときには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】
● マイナンバー／追加番号（2 番号）
● ダブルチャネル／複数チャネル
※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	－

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	－
03-xxxx-2222	◉ 通知する	☑ 着信する	IR

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】

●マイナンバー／追加番号（2 番号）

● ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

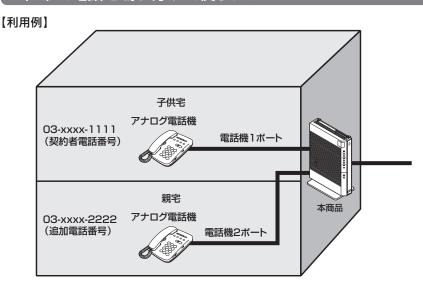
【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	−
03-xxxx-2222	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

2 世帯で電話を鳴り分けて使うには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】
- マイナンバー／追加番号（2 番号）
- ダブルチャネル／複数チャネル
　※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

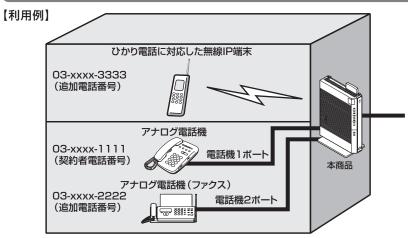
アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	⊙ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR
03-xxxx-2222	⊙ 通知する	☑ 着信する	IR

ひかり電話に対応した無線 IP 端末を利用したいときには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】

●マイナンバー／追加番号（3 番号）

●ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	－
03-xxxx-3333	○ 通知しない	□ 着信しない	－

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	－
03-xxxx-2222	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-xxxx-3333	○ 通知しない	□ 着信しない	－

IP 端末 1

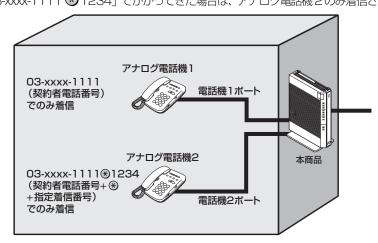
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-xxxx-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	－
03-xxxx-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	－
03-xxxx-3333	◉ 通知する	☑ 着信する	－

※ IP 端末の詳細な設定については、別途ご利用の IP 端末の取扱説明書などをご参照ください。

指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに着信させたいときには

【利用例】

「03-xxxx-1111」でかかってきた場合は、アナログ電話機 1 のみ着信させる。
「03-xxxx-1111 ㊀ 1234」でかかってきた場合は、アナログ電話機 2 のみ着信させる。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

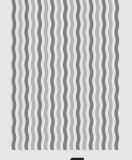
電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	☐ 使用しない	–	–	IR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-xxxx-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	☑ 使用する	1234	☐ 着信しない	IR

※「Web 設定」ページの［電話設定］－［内線設定（アナログ端末）］画面の［電話番号設定］で［指定着信機能］－［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に「1234」（指定着信番号）を入力します。
指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は［指定なし着信］にチェックします。

 お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。
●指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンはご利用いただけません。
●ガスの遠隔検針などでご利用いただけます。

4 インターネット接続の設定をする

この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

※本章に記載しております「インターネット接続の設定（プロバイダの資料にしたがった設定）」は、IPv4によるインターネット接続に関するご案内です。

4-1 設定の流れ……4-2

4-2 パソコンのネットワーク設定（Windows® 7/Windows Vista®）……4-3

4-3 本商品の設定をする……4-8

4-4 インターネットに接続する……4-11

4-5 フレッツ・スクウェアに接続する……4-12

4-1 設定の流れ

本商品のインターネット接続は次の手順で行います。
パソコンのOS によってそれぞれのページを参照して行ってください。

Windows® 7/ Windows Vista® の場合	Windows® XP の場合	Mac OS X の場合
↓	↓	↓
パソコンのネットワークの設定をする（☛4-3ページ）	パソコンのネットワークの設定をする（☛8-3ページ）	パソコンのネットワークの設定をする（☛8-5ページ）
↓	↓	↓
パソコンとの接続を確認する（☛4-4ページ）	パソコンとの接続を確認する（☛8-4ページ）	パソコンとの接続を確認する（☛8-5ページ）
↓	↓	↓
Web ブラウザの設定をする（☛4-5ページ）		
↓	↓	↓
JavaScript™ の設定をする（☛4-6ページ）		JavaScript™ の設定をする（☛8-6ページ）
↓	↓	↓
本商品の設定をする（☛4-8ページ）		
↓	↓	↓
インターネットに接続する（☛4-11ページ）		

4-2 パソコンのネットワーク設定（Windows® 7/Windows Vista®）

本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。
パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。
「4-3 本商品の設定をする」（☛4-8ページ）へお進みください。

パソコンのネットワークの設定をする（Windows® 7/Windows Vista®）

Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックする

3 ［タスク］欄の［アダプターの設定の変更］をクリックする

> **Windows Vista® の場合**
> ［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

※［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。

5 ［インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

6 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

●本書では、Windows® 7の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

パソコンとの接続を確認する(Windows® 7/Windows Vista®)

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［イーサネット アダプター ローカル エリア接続：］が表示され、IPv4アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）

Windows Vista® の場合

［イーサネット アダプタ ローカルエリア接続：］が表示され、IPv4アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認します。（xxxは2～254の数字です）

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Web ブラウザの設定をする（Windows® 共通）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

以下の画面は、Windows® 7で Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする

> **Windows® XP の場合**
>
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

3 ［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択する

4 ［LAN の設定］をクリックする

5 ［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外し、［OK］をクリックする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。

6 ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

JavaScript™ の設定をする（Windows® 共通）

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。
※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下の画面は、Windows® 7 で Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1 [スタート]（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

2 [ネットワークとインターネット］をクリックし、[インターネットオプション］をクリックする

> **Windows® XP の場合**
> [ネットワークとインターネット接続］をクリックし、[インターネットオプション］をクリックします。

3 [セキュリティ］タブをクリックし、[信頼済みサイト］をクリックする

4 [サイト］をクリックする

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

6 [この Web サイトをゾーンに追加する]に「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス(http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合)を入力して[追加］をクリックし、[閉じる］をクリックする

7 [レベルのカスタマイズ］をクリックする

8 画面をスクロールし、［アクティブ スクリプト］が［有効にする］に設定されていることを確認し、［OK］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

4-3 本商品の設定をする

本商品のインターネット接続の設定は、Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を使って「Web 設定」を起動して行います。

■「Web 設定」で設定する

あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器の接続をしておきましょう。設定画面が開けない場合には、「4-1　設定の流れ」（☛4-2 ページ）をご覧の上、パソコンの設定を確認してください。

1 Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を入力し、「Web 設定」ページを開く

2 機器設定用パスワードの初期設定を行う

画面にしたがって任意の文字列（半角英数字で最大 32 文字まで）を入力してください。

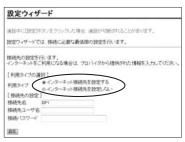
!

機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

機器設定用パスワード

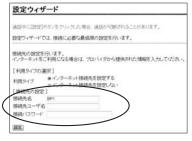
機器設定用パスワードは上記の表に記入しておくことをお勧めします。
機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。パスワードはお客様にて厳重に管理してください。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定をはじめからやり直してください。（☛8-10 ページ）

3 ［設定］をクリックする

4 利用タイプで［インターネット接続先を設定する］を選択する

※インターネットの接続先を設定しない場合は、［インターネット接続先を設定しない］を選択し、手順 6 へ進みます。

お知らせ

- 機器設定用パスワードには 32 文字以内の半角英数字および記号が使用できます。ただし、< > ¥ ' " ? & % = : ; @ / は使用できません。大文字と小文字は区別されます。また、空白にする、およびスペースのみで設定することはできません。
- すでに機器設定用パスワードを設定したり、設定ウィザードでプロバイダなどの設定が済んでいる場合は、手順 1 で「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を入力すると手順 7 の画面が表示されますので、「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。本商品は再起動しないで、すぐに「Web 設定」のトップページを表示します。

5 **プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザ名、接続パスワードを入力し、フレッツ・スクウェアへの接続の設定を選択する**

※画面は例です。
[フレッツ・スクウェア接続］はフレッツ 光ネクストをご利用の場合は表示されません。B フレッツをご利用の場合のみ表示されます。

接続先ユーザ名：
プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザ名を入力します。
「接続先ユーザ名」はプロバイダによっては「認証 ID」、「ユーザ ID」のように書かれている場合があります。
例： xxxxx@xxxxx.ne.jp

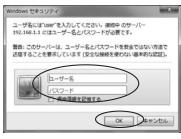
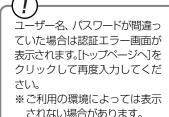
接続パスワード：
プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。
「接続パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。

※接続先ユーザ名に使用できるのは、半角の英数字と記号で最大 80 文字までです。

※接続パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大 48 文字までです。

フレッツ・スクウェア接続：
(B フレッツをご利用の場合のみ設定が可能です)
フレッツ・スクウェアへの接続をご利用になる場合は「設定する」をチェックし、ご利用にならない場合は「設定する」のチェックを外します。
(「4-5　フレッツ・スクウェアに接続する」☛4-12 ページ)

6 **[設定］をクリックする**

7 **ユーザー名に「user」を、パスワードに手順 2 で入力した機器設定用パスワードを入力して［OK］をクリックする**

本商品が再起動します。

!

ユーザー名、パスワードが間違っていた場合は認証エラー画面が表示されます。[トップページへ]をクリックして再度入力してください。
※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

(次ページに続く)

8 ［再表示］をクリックする

9 「Web 設定」のトップページが表示される

以上でインターネット接続の設定は終わりました。
Web ブラウザを閉じて「Web 設定」を終了してください。
PPP ランプが緑点灯することを確認してください。
PPP ランプが点灯しない場合は「7 章 故障かな？と思ったら」（☛ 7-1 ページ）を参照してください。

お知らせ

- 本項の手順で設定された接続先ユーザ名、接続パスワードは「メインセッション」に設定されます。「メインセッション」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
- プロバイダから DNS サーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- 「フレッツ・スクウェア」で「設定する」をチェックした場合は、「セッション 3」に設定されます。
  設定を変更する場合は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- 本項の手順は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web 設定」を開く際は、手順 1 に続いて手順 7 の画面が表示されます。機器設定用パスワードの入力が必要となりますので、手順 2 で設定した機器設定用パスワードを入力してログインしてください。ログインすると、「Web 設定」のトップページが表示されます。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- 対応するブラウザについては「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」（☛ 1-8 ページ）をご覧ください。
- 「Web 設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 「Web 設定」を操作すると、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。
- 「Web 設定」を行う際、「更新の確認に失敗しました。」「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」と表示された場合は、本商品が正しく回線に接続されていることを確認し、電源を入れ直してください。
- 「Web 設定」を行う際、「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備が工事中のため本商品の設定はできません。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- 他の設定を実行中は、「Web 設定」での設定は行えません。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。その場合は、使用後一定時間たってから再度ファームウェアの更新を行ってください。

4-4 インターネットに接続する

Web ブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

1 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する

本商品の PPP ランプが緑点灯していることを確認してから起動してください。

2 インターネット上のホームページを開く

お知らせ

- ●PPPoE ブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPP ランプは緑点灯しません。
- ●接続モードを要求時接続に設定している場合、無通信時には PPP ランプが消灯しています。
- ●インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていれば PPP ランプは緑点灯しますのでご注意ください。
- ●本商品では、PPPoE マルチセッション機能を利用して 1 回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- ●2 セッション以上接続中の場合、PPP ランプは橙点灯します。

4-5 フレッツ・スクウェアに接続する

フレッツ・スクウェアへの接続を設定した場合は次の手順で接続してみましょう。

1 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する

2 「フレッツ・スクウェア」の URL を入力し、ページを開く

■フレッツ 光ネクストに接続した場合（NTT 東日本／ NTT 西日本エリアのお客様）※ 1

【IPv6 をご利用可能なお客様】

NTT 東日本エリアのお客様 ： http://flets-east.jp/
NTT 西日本エリアのお客様 ： http://flets-west.jp/

【IPv6 をご利用いただけないお客様】

NTT 東日本エリアのお客様 ： http://www.v4flets-east.jp/
NTT 西日本エリアのお客様 ： http://www.v4flets-west.jp/

※ 1 開通のご案内に記載されているお客様 ID の頭 3 文字が「CAF」と記載されているお客様
設定方法は、「機能詳細ガイド」の［設定例］－［フレッツ・スクウェアを利用するには］を参照してください。

■B フレッツに接続した場合（NTT 東日本のお客様）※ 2

【IPv6 をご利用可能なお客様】

フレッツ・スクウェア v6 ： http://flets-v6.jp/ ※ 3

【IPv6 をご利用いただけないお客様】

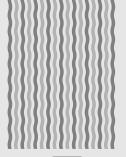
フレッツ・スクウェア ： http://www.flets/ ※ 4

※ 2 開通のご案内に記載されているお客様 ID の頭 3 文字が「COP」と記載されているお客様

※ 3 フレッツ・スクウェア v6 の接続方法は NTT 東日本のホームページ（http://flets.com/）等をご覧ください。

※ 4 フレッツ・スクウェアの設定は設定ウィザードで行います。
設定ウィザードは、「Web 設定」をはじめて行う場合にのみ起動します。設定を変更する場合は、「Web 設定」で行ってください。設定方法は、「機能詳細ガイド」の［設定例］－［フレッツ・スクウェアを利用するには］を参照してください。

お知らせ

- 提供条件、接続方法などの詳細は NTT 東日本／ NTT 西日本のホームページ等をご覧ください。
  NTT 東日本ホームページ ： http://flets.com/
  NTT 西日本ホームページ ： http://flets-w.com/
- フレッツ 光ネクストに接続し、IPv6 をご利用いただけないお客様向けの URL はフレッツ・スクウェアではなく、サービス情報や速度測定などのサポートメニューを提供するフレッツご利用者専用サイトの URL となります。なお、NTT 西日本エリアでは IPv6 のご利用可否にかかわらず、フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトとなります。（2012 年 6 月現在）

5 無線LANのご利用について

無線LANをご利用になる場合はこちらをご覧ください。

5-1　無線LANのご利用について ……………………5-2
5-2　本商品への無線LANカードの取り付け …5-4
5-3　パソコンへ無線LANカードの設定をする …5-6
5-4　パソコンに装着した無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能） ………………5-10
5-5　ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）…………………5-14
5-6　Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能） ………………5-20
5-7　電話機から無線LANの設定を変更する …5-29

5

5-1 無線LANのご利用について

●本商品の無線LANは、下記のいずれか一方の場合のみでご利用いただけます。また、ご利用になる無線LANを変更される場合は、新たに無線設定が必要となります。

●本商品で「SC-40NE」をご利用になる場合は、11N-ADPの装着が必要となります。詳しくは「5-2 本商品への無線LANカードの取り付け」（☛5-4ページ）を参照してください。

本商品に「SC-32SE」「SC-32NE」「SC-32KI」または「SC-32HI」を装着して無線接続をする場合

●IEEE802.11a/b/gのご利用

パソコンに無線LANカード「SC-32SE」「SC-32NE」「SC-32KI」「SC-32HI」のいずれかを装着することにより、ご利用になれます。

●IEEE802.11nのご利用

本商品に「SC-32SE」「SC-32NE」「SC-32KI」「SC-32HI」のいずれかを装着した場合、IEEE802.11nでの無線接続はご利用になれません。

本商品にSC-40NEを装着して無線接続をする場合

●IEEE802.11b/gのご利用

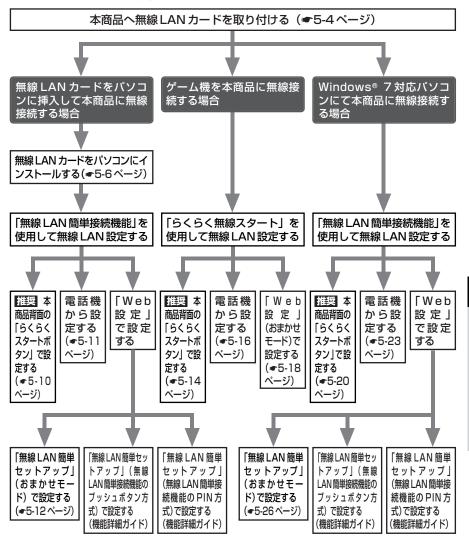
パソコンに無線LANカード「SC-32SE」「SC-32NE」「SC-32KI」「SC-32HI」のいずれかを装着することにより、ご利用になれます。

●IEEE802.11nのご利用

パソコンにIEEE802.11nに対応の無線LANカードを装着することにより、ご利用になれます。

●IEEE802.11aのご利用

本商品にSC-40NEを装着した場合、IEEE802.11aでの無線接続はご利用になれません。

本商品で無線LANをご利用になるには次の手順で設定を行ってください。

おまかせモードを起動すると、設定する無線LAN端末の設定モードに合わせて、「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」または「らくらく無線スタート」で設定を開始します。本書では、おまかせモードを使用した設定方法を記載しています。

STOP **お願い**

●手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］を参照してください。

5-2 本商品への無線LANカードの取り付け

SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HIのいずれかをご利用の場合

本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「SC-32SE」「SC-32NE」「SC-32KI」「SC-32HI」のいずれかを装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。

- ●装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- ●電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。
- ●電源を投入したまま無線LANカードの装着や取り外しを行うと、本商品および装着した無線LANカードが故障することがあります。
- ●本商品に装着できる無線LANカードは「SC-32SE」、「SC-32NE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」、「11N-ADPを取り付けたSC-40NE」のいずれかのみです。
- ●本商品で「SC-40NE」をご利用になる場合は、11N-ADPの装着が必要となります。
- ●パソコンに無線LANカードを装着して本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書をご覧ください。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 無線LANカード「SC-32SE」、「SC-32NE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを拡張カードスロットの奥まで確実に装着する

無線LANカードは図の通り、本商品のランプ側を右にして無線LANカードのランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。

※装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。

3 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続する

無線LANカードのPWRランプとLINKランプ（SC-32SE、SC-32KI、SC-32HI）、またはACTランプ（SC-32NE）が同時に緑点滅することを確認してください。

無線LANカードを取り外すときのご注意

本商品から無線LANカードを取り外すときは、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

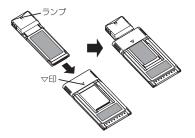
SC-40NE をご利用の場合

本商品の拡張カードスロットに 11N-ADP を装着した SC-40NE を取り付けることにより、無線 LAN 機能をご利用になれます。

- ●装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- ●電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。
- ●電源を投入したまま無線 LAN カードの装着や取り外しを行うと、本商品および装着した無線 LAN カードが故障することがあります。
- ●本商品に装着できる無線 LAN カードは「SC-32SE」、「SC-32NE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」、「11N-ADP を取り付けた SC-40NE」のいずれかのみです。
- ●本商品で「SC-40NE」をご利用になる場合は、11N-ADP の装着が必要となります。また、「SC-40NE」をご利用になる前に、本商品に最新のファームウェアが適用されているか確認してください。(☛6-1 ページ)
- ●パソコンに無線 LAN カードを装着して本商品で無線 LAN 機能を使用される場合には、パソコンの LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させないと無線 LAN カードが使用できない場合があります。無線 LAN カードの取扱説明書をご覧ください。

1　本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2　SC-40NE に 11N-ADP を装着する

SC-40NE のランプと 11N-ADP の▽印が同じ面に見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると SC-40NE および 11N-ADP が破損する場合があります。

3　本商品の拡張カードスロットに SC-40NE を装着する

11N-ADP を装着した SC-40NE を図のとおり、本商品のランプ側を右にして SC-40NE のランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や SC-40NE、11N-ADP が破損する場合があります。

※装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。

4　本商品の電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントに接続する

SC-40NE の PWR ランプと ACT ランプが同時に緑点滅することを確認してください。

※ランプが点滅しない場合は、本商品のファームウェアが最新でない可能性があります。本商品に最新のファームウェアが適用されているか確認してください。(☛6-1 ページ)

無線 LAN カードを取り外すときのご注意

本商品から無線 LAN カードを取り外すときは、本商品の電源を切った状態で取り外してください。

5-3 パソコンへ無線LANカードの設定をする

パソコンに無線LANカード「SC-32SE」、「SC-32NE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。
ここでは、Windows® 7/Windows Vista® のパソコンにSC-32SEを接続してご使用になる場合を例に説明しています。

●パソコンに無線LANカードを装着して本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書をご覧ください。

インストール

SC-32SEをパソコンで使用するには、「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストールは、SC-32SEに付属の「SC-32SE専用CD-ROM」（橙）をパソコンにセットして行います。
SC-32SEに付属の「SC-32SE専用CD-ROM」（橙）では、「ドライバ」およびSC-32SEを設定するための「SC-32設定用ユーティリティ」を同時にパソコンにインストールします。

1 Windows® 7を起動する

この時点では、SC-32SEをパソコンのPCカードスロットに挿入しないでください。

2 付属の「SC-32SE専用CD-ROM」（橙）をCD-ROMドライブにセットする

Windows® 7の場合

※[自動再生]画面が表示された場合は、[メディアからのプログラムのインストール/実行]に表示されたプログラムをクリックします。
※[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら[はい]をクリックします。

Windows Vista® の場合

※[自動再生]画面が表示された場合は、[プログラムのインストール/実行]に表示されたプログラムをクリックします。
※[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら[続行]をクリックします。

3 SC-32SE/SC-32NE/SC-32KI/SC-32HIのユーティリティやドライバをアンインストールする確認画面が表示された場合は[OK]をクリックする

4 ソフトウェア使用許諾契約書が表示されたら、内容をよくお読みの上、内容に同意される場合は［次へ］をクリックする

SC-32設定用ユーティリティのインストールが始まります。

5 SC-32設定用ユーティリティのインストールが完了すると、SC-32ドライバのインストール画面が表示されるので、パソコンのPCカードスロットにSC-32SEを挿入する

［ドライバのインストール］画面が表示されている間はそのまましばらくお待ちください。
ドライバのインストールが完了します。

お知らせ

- ドライバとは、SC-32SE をパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。
- ユーティリティとは、無線ネットワーク名（SSID）または暗号化などの無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。SC-32SE のユーティリティの名称は、「SC-32 設定用ユーティリティ」です。
- SC-32SE は、Windows® 7　32 ビット（x86）版、Windows Vista®（SP2）32 ビット（x86）版および Windows® XP(SP3)のみでご利用になれます。

お願い

- 無線 LAN をご利用の場合、現在までご利用の無線 LAN カードドライバのアンインストールを実施してください。無線 LAN カードドライバのアンインストールは、各製品の取扱説明書などをご参照ください。
- Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP では、管理者権限を持つユーザ（Administrator など）でログオンしてください。それ以外のユーザ名でログオンすると、正常にインストールできません。
- インストール時に起動中のソフトウェアがある場合は、データなどを保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
- インストール時に SC-32 設定用ユーティリティ以外の無線ユーティリティが起動している場合は、その無線ユーティリティを終了の上、アンインストールしてください。

インストール完了の確認

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

2 ［システムとセキュリティ］をクリックし、［システム］をクリックする

Windows Vista® の場合

［システムとメンテナンス］をクリックし、［システム］をクリックします。

Windows® XP の場合

［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］の順にクリックし、［ハードウェア］タブをクリックします。

3 ［デバイスマネージャー］をクリックする

※Windows® 7/Windows Vista® の場合は、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら［はい］または［続行］をクリックします。

4 「ネットワークアダプター」をダブルクリックする

「SC-32」が表示されます。

5 「SC-32」をダブルクリックする

6 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する

7 ［OK］をクリックする

以上でインストールの確認は終了です。

5-4 パソコンに装着した無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、無線LANカードを装着したパソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

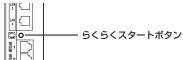
●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛下記）
●電話機から設定する（☛5-11ページ）
●「Web設定」で設定する
　・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛5-12ページ）
　・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
　・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）
　※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については機能詳細ガイド「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
●「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。
● SC-40NEは本商品以外には使用できません。

推奨「らくらくスタートボタン」で設定する

1　パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

2　本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す

「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定などによって橙点滅する場合があります）

> **!** 設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-13ページ）

3　本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

> **!** 設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-13ページ）

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

1　パソコンにインストールした無線 LAN カードのユーティリティから「無線 LAN 簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。

2　電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

3　電話機のダイヤルボタンを「㊀㊀㊀⓪⓪」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定などによって橙点滅する場合があります）

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛5-13 ページ）

4　本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

!

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛5-13 ページ）

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。
おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

5　ハンドセットを置く

お知らせ

●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
●電話機からの設定については、5-31 ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web 設定」で設定する

無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード]をクリックした後、無線 LAN 接続が切断される場合があります。おまかせモードを使用する場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

1. **本商品の「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス(http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合)を開く**
2. **メニューの[無線 LAN 設定]－[無線 LAN 簡単セットアップ]を選択する**
3. **パソコンにインストールした無線 LAN カードのユーティリティから「無線 LAN 簡単接続機能(プッシュボタン方式)」を起動する**

   起動方法は、無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。

4. **「Web 設定」の[おまかせモード]をクリックする**

5. **「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録が完了しました。」と表示されることを確認する**

おまかせモード(無線 LAN 簡単接続機能)での無線 LAN 設定が完了します。

！「無線LAN簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面で「無線LAN簡単セットアップを起動できませんでした。」「無線LAN端末が見つかりませんでした。」などと表示された場合は、設定が失敗しています。
電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-7ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

お願い

● 無線LAN簡単セットアップ中にらくらくスタートボタンやWebの操作を行うと、Web画面が正常に表示されない場合があります。

お知らせ

● 手動で無線LAN設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定］を参照してください。

5-5 ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）

「らくらく無線スタート」を使用して、ゲーム機と本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「らくらく無線スタート」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
●電話機から設定する（☛5-16ページ）
●「Web設定」で設定する
　・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛5-18ページ）

●本商品に無線の暗号化が設定されていることを確認してください。
（ただし、WPA2-PSKは「らくらく無線スタート」ではご利用になれません）
設定されていない場合は電話機から設定することもできます。（☛5-29ページ）

●接続するゲーム機が本商品の暗号化方式や暗号化強度に対応していることを確認してください。対応状況に関してはゲーム機の取扱説明書などをご確認ください。

●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。

●本商品の無線の暗号化が「WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES)」で「らくらく無線スタート」を使用した場合、自動的に無線LAN端末を下記の暗号化に設定します。
・SC-32SE、SC-32NE、SC-32KIまたはSC-32HIをご利用の場合：
WPA-PSK（TKIP）
・SC-40NEをご利用の場合：WPA-PSK（AES）

●「らくらく無線スタート」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。

●「らくらく無線スタート」設定中の無線LANアクセスポイント（本商品）のランプ名称やランプの状態は、ご利用のゲーム機の説明書などに記載されている内容と異なる場合があります。本商品との無線LAN設定にあたっては、本書の記載内容に読み替えてください。

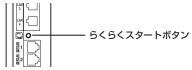
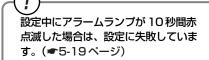
●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

推奨「らくらくスタートボタン」で設定する

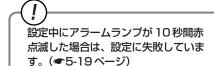
1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

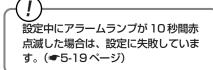
ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後1分以内に次の手順に進んでください。1分以上たつと自動的にキャンセルされます。

2 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、前面の登録ランプが緑点滅したら離す

らくらく無線スタートの通信が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

3 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始します。

※30 秒以内に次の手順に進んでください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

4 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点灯したら離す

設定が完了すると、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

1 **ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する**

> **!** ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後1分以内に次の手順に進んでください。1分以上たつと自動的にキャンセルされます。

2 **本商品に接続した電話機のハンドセットを取りあげる**

「ツー」という音を確認します。

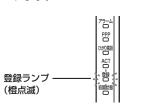
3 **電話機のダイヤルボタンを「⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ⓪」と押す**

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

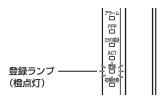
> **!** 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
> (☛5-19ページ)

4 **本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する**

「らくらく無線スタート」での設定が開始し、「ププ、ププ」と聞こえます。

※30秒以内に次の手順に進んでください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

> **!** 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
> (☛5-19ページ)

5 電話機のダイヤルボタン「⊛」を押す

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛5-19ページ）

6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7 ハンドセットを置く

お知らせ

- ●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- ●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- ●電話機からの設定については、5-31ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web 設定」で設定する

無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] をクリックした後、無線 LAN 接続が切断される場合があります。おまかせモードを使用する場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

1 本商品の「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス(http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合)を開く

2 メニューの[無線 LAN 設定] − [無線 LAN 簡単セットアップ]を選択する

3 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

!

ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。 1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

4 「Web 設定」の[おまかせモード]をクリックする

無線LAN簡単セットアップ

トップページ > 無線LAN設定 > 無線LAN簡単セットアップ

無線LAN端末を探しています。しばらくお待ちください。

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末を探しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」と表示された場合は、設定に失敗しています。(☛5-19 ページ)

5 ［設定開始］をクリックする

※30 秒以内にクリックしてください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

無線LAN簡単セットアップ

トップページ > 無線LAN設定 > **無線LAN簡単セットアップ**

無線LAN端末が見つかりました。
続けて、無線LAN端末の登録を行います。
設定開始ボタンを押してください。

無線LAN簡単セットアップ

トップページ > 無線LAN設定 > **無線LAN簡単セットアップ**

無線LAN端末の登録中です。しばらくお待ちください。

無線LAN簡単セットアップ

トップページ > 無線LAN設定 > **無線LAN簡単セットアップ**

無線LAN端末の登録が完了しました。

戻る

> **!** 「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」と表示された場合は、設定に失敗しています。（☛ 下記）

設定が完了すると「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録が完了しました。」と表示されます。
「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了します。

STOP お願い

- 手動で無線 LAN 設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－「無線 LAN 設定」を参照してください。

! 「らくらく無線スタート」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面に「無線 LAN 簡単セットアップを起動できませんでした。」「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」などと表示された場合は、設定が失敗しています。
電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-7 ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順 1 から設定を行ってください。

本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化を設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。2 回目以降も失敗する場合は、他の原因により設定に失敗しています。「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-7 ページ）を確認してください。

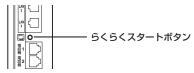
自動的に設定される設定値については、「① SSID-1 に設定した場合」（☛5-30 ページ）を参照してください。

5-6 Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。設定が完了するまで、2分程度かかる場合があります。
本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。
●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
●電話機から設定する（☛5-23ページ）
●「Web設定」で設定する
・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛5-26ページ）
・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）
※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については機能詳細ガイド「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を参照してください。

●本機能で無線LANの設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。
●他の無線LAN端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、Windows® 7の無線LAN接続に失敗する場合があります。その場合は、他の無線LAN端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。
●「無線LAN簡単接続機能」を使用してWindows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を接続する場合、本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）」を「しない」に設定する必要があります。（☛5-29ページ）
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
●「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。

推奨 「らくらくスタートボタン」で設定する

1 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す

「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定などによって橙点滅する場合があります）

！ 設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-28ページ）

2 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

3 本商品のSSID-1に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、5-31ページを参照してください。

4 ［接続］をクリックする

5
無線LANのご利用について

（次ページに続く）

5 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

6 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

7 手順 3 で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、「プロパティ」をクリックする

8 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

1 **電話機のハンドセットを取りあげる**

「ツー」という音を確認します。

2 **電話機のダイヤルボタンを「⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ⓪」と押す**

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定などによって橙点滅する場合があります）

3 **通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする**

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

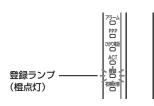
4 **本商品のSSID-1に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする**

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、5-31ページを参照してください。

（次ページに続く）

5 無線LANのご利用について

5 ［接続］をクリックする

6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
（☛5-28 ページ）

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。
おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7 ハンドセットを置く

8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9 手順４で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、「プロパティ」をクリックする

10 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする

お知らせ

- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、5-31ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web 設定」で設定する

無線LAN 端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード]をクリックした後、無線LAN 接続が切断される場合があります。おまかせモードを使用する場合は、有線LAN 端末から設定を行ってください。

1. 本商品の「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIP アドレス(http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合)を開く

2. メニューの[無線LAN 設定]－[無線LAN 簡単セットアップ]を選択する

3. 「Web 設定」の[おまかせモード]をクリックする

4. 通知領域(タスクトレイ)もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※ [スタート](Windows® のロゴボタン)－[コントロールパネル]－[ネットワークとインターネット] － [ネットワークと共有センター] － [ネットワークに接続]をクリックする方法もあります。

5 本商品のSSID-1に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※ 本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、5-31ページを参照してください。

6 ［接続］をクリックする

7 「Web設定」画面に「無線LAN端末の登録が完了しました。」と表示されることを確認する

無線LAN簡単セットアップ

トップページ > 無線LAN設定 > **無線LAN簡単セットアップ**

無線LAN端末の登録が完了しました。

戻る

（次ページに続く）

8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9 手順５で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、「プロパティ」をクリックする

10 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする

「無線 LAN 簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面で「無線 LAN 簡単セットアップを起動できませんでした。」「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」などと表示された場合は、設定が失敗しています。
電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2　ご利用開始後のトラブル」（☛7-7 ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順 1 から設定を行ってください。

お願い

●手動で無線 LAN 設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線 LAN 設定］を参照してください。

お知らせ

●無線 LAN 簡単セットアップ実行中に「Web 設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web 設定」画面が正常に表示されない場合があります。

5-7 電話機から無線 LAN の設定を変更する

電話機から無線 LAN の次の設定を変更することができます。
・無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定
・無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）
・無線 LAN 動作モード
なお、本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

●電話機からの暗号化設定により、「無線ネットワーク名（SSID）」、「暗号化方式」、「事前共有キー（PSK）」、「WEP キー」は上書きされます。
→すでに無線 LAN 接続されている機器がある場合、本商品と同じ設定に変更する必要がありますのでご注意ください。

1 ハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

2 電話機のダイヤルボタンを押す

【無線 LAN 設定】

機能		設定内容	操作
無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定 ※ 1		SSID-1 の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 1 # #
		SSID-2 の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 2 # #
無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）※ 2		する	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 1 # #
		しない	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 2 # #
無線 LAN 動作モード ※ 3	SC-32SE または SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI ご利用の場合	IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 3 # #
		IEEE802.11a 固定にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 4 # #
	SC-40NE ご利用の場合	IEEE802.11b/g/n 互換にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 3 # #
		IEEE802.11b/g 互換にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 4 # #

※ 1 無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容については、5-30 ページを参照してください。
※ 2 初期値は、無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）をしないになっています。
※ 3 無線 LAN 動作モードの初期値は、以下の通りです。
・SC-32SE または SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI のいずれかをご利用の場合： IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換
・SC-40NE をご利用の場合： IEEE802.11b/g/n 互換

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置く

【電話機から設定する場合の無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容】

電話機から設定した場合、設定される無線ネットワーク名（SSID）、暗号化方式、事前共有キー（PSK）、WEP キーは次の通りです。

① SSID-1 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID）	RVS340SE-XXXXXX-1 （XXXXXX は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下 6 桁）	
無線の暗号化方式	SC-32SE または SC-32NE、SC-32KI、SC-HI 装着時	WPA-PSK（TKIP）
	SC-40NE 装着時	WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）
事前共有キー（PSK）	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）	

② SSID-2 に設定した場合

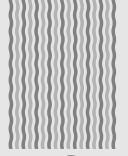
無線ネットワーク名（SSID）	RVS340SE-XXXXXX-2 （XXXXXX は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下 6 桁）
無線の暗号化方式	WEP（128bit）
使用する WEP キー（キーインデックス）	WEP キー 1
WEP キー 1	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）
ポートセパレート	使用しない

本商品の工場出荷状態では①②の値がそれぞれ SSID-1、SSID-2 に設定されています。

- 事前共有キー（PSK）および WEP キーをお客様自身で設定する場合、第三者に推測されにくいキーを登録してください。
  また事前共有キー（PSK）、WEP キー、暗号キーおよび品名紙記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。
  WEP をご利用の際は、より強固なセキュリティとするため MAC アドレスフィルタリングを併用してください。（☛ 詳しくは機能詳細ガイドの「MAC アドレスフィルタリング」を参照してください。）
- 電話機から WEP（128bit）に設定した場合、お客様自身で設定した WEP キー 2～4 は消去されますのでご注意ください。

※本商品の無線ネットワーク名（SSID)、MAC アドレスは本商品側面に記載されています。

 お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定が行えない場合があります。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など)、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

6 本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

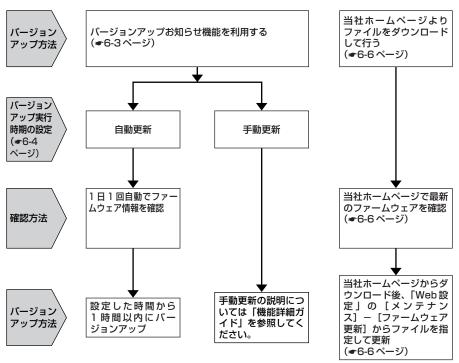
6-1　本商品のバージョンアップの流れ …………6-2

6-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする ………………………6-3

6-3　当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする …………………6-6

6-4　ファームウェア情報を確認する ……………6-8

6-1 本商品のバージョンアップの流れ

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。
※本商品の初期値は、「自動更新」に設定されています。初期値のままご利用になることをお勧めします。自動更新の説明については 6-4 ページを参照してください。

6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

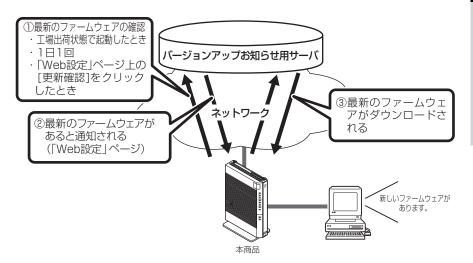
本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。
本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。
　※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。
バージョンアップ方法には以下の２通りの方法があります。

●バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛ 下記）
　・バージョンアップお知らせ機能の機能概要
　・バージョンアップ実行時期を設定する

●当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛6-6 ページ）

バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認する機能です。
最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードします。
この機能は、本商品を工場出荷状態で起動したとき（機能動作には、ひかり電話サービスのご契約が必要です）、定期的に１日１回（機能動作には、ひかり電話サービスのご契約、またはインターネット接続の設定が必要です）、および「Web 設定」の画面で［更新確認］をクリックしたときに動作します。
最新のファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

●本商品の「Web 設定」（「トップページ」および［メンテナンス］－［ファームウェア更新］）にて確認する
（「新しいファームウェア（更新）があります。・・・。」と表示されます。）

バージョンアップ実行時期を設定する

バージョンアップお知らせ機能で確認した最新のファームウェアに、いつバージョンアップするかを設定します。
最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯に合わせて、自動的にファームウェアの更新を行います。
自動更新時間は、初期値で午前１時〜午前５時のいずれかの時間帯に設定され、設定された時間帯から１時間以内に約１分間で更新されます。

【例】自動更新時間『３：００』と設定されている場合、実際に更新されるのは、『３：００〜３：59』の間のいずれかの時間となります。

ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。

＜「Web 設定」で設定する場合＞

1. 「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を開く
2. メニューの［メンテナンス］−［ファームウェア更新］を選択する
3. [自動更新時間]を選択する
4. [設定]をクリックする

お知らせ

●お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新が行われない場合があります。

<電話機で設定する場合>

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

1 電話機のハンドセットを取りあげる

2 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 8 8 ファームウェア更新種別 ＊ 設定値 # #」と押す

ファームウェア更新種別		設定値
2	自動更新	24時間を2桁で入力します。 （00～23の2桁） 例）9時の場合：0 9

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 ハンドセットを置く

お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れる場合があります。このとき、電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。
- 「ファームウェア更新種別」を「手動更新」に設定している場合に、最新のファームウェアが提供されていると、電話機のハンドセットを取りあげたときに、「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という音の前に聞こえます。この場合も通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。通話終了後、「＊ ＊ ＊ 1 1」をダイヤルしてファームウェアのバージョンアップを行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。

6-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

「Web 設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

当社ホームページ　http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

バージョンアップファームウェアをダウンロードした後、更新を行います。
以下の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

1. 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする
2. 「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を開く
3. メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を選択する
4. ［ファイル指定］の［参照］をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

   ［現在のバージョン］には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5. ［更新］をクリックし、［OK］をクリックする

6. ［再表示］をクリックする

STOP **お願い**

- 本商品は自動的に最新のファームウェアの有無を確認し、最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードを行います。回線の接続状態などにより、ダウンロードに失敗した場合は、ファームウェア更新を実行するときにダウンロードも行います。お客様の操作によるファームウェアのバージョンアップ中は、本商品前面のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービスのご契約、またはインターネット接続の設定が必要です。
- ファームウェアのバージョンアップ中は、電源を切らないでください。
- 本商品に最新のファームウェアがダウンロードされた状態で、本商品を再起動すると、自動的に最新のファームウェアに更新されます。
- 本商品を工場出荷状態で起動したときに、最新のファームウェアが提供されている場合は、自動的に最新のファームウェアへ更新されます。最新のファームウェアをダウンロード後、本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービスのご契約が必要です。
- 緊急を要するファームウェアが提供された場合は、ファームウェア更新種別の設定にかかわらず、ファームウェア更新が行われることがあります。本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。その場合は、使用後一定時間たってから再度ファームウェアの更新を行ってください。
- バージョンアップを行うと本商品が再起動し、通信が切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
- 本商品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
- このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。最新の取扱説明書などが必要なときは、当社ホームページよりダウンロードしてください。

6-4 ファームウェア情報を確認する

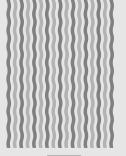
本商品に接続されたパソコンのWebブラウザで「機器情報」ページ「http://ntt.setup/info/」もしくは本商品のIPアドレス(http://192.168.1.1/info/　※工場出荷時の場合)を開くと、ユーザー名やパスワードを入力せずに、本商品の現在のファームウェアバージョンや更新種別などを確認できます。

本商品のファームウェアバージョン、ファームウェア更新種別を確認する

1. **Webブラウザを起動し、「http://ntt.setup/info/」もしくは本商品のIPアドレス（http://192.168.1.1/info/ ※工場出荷時の場合）を入力し、「機器情報」ページを開く**

2. **［現在のバージョン］に本商品の現在のファームウェアバージョン、［更新種別］に現在設定されている更新種別が表示されているのを確認する。**

3. **続けて本商品の設定をする場合は、［トップページへ］をクリックする**

「Web設定」画面のトップページが表示されます。
このとき、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。詳細は「3-4　パソコンからひかり電話の設定をする」（☛3-18ページ）をご覧ください。

7 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、はじめから設定し直してください。

7-1　設置に関するトラブル……………………7-2
7-2　ご利用開始後のトラブル…………………7-7

7-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認の上、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（a 参照）
↓はい	
本商品前面のアラームランプは消灯していますか？	→いいえ（b 参照）
↓はい	
本商品前面の FAIL ランプが消灯していますか？	→いいえ（c 参照）
↓はい	
本商品前面の VDSL ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（d 参照）
↓はい	
本商品前面の ACT ランプが緑点灯していますか？	→いいえ（e 参照）
↓はい	
本商品前面の登録ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（f 参照）
↓はい	
本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？ ※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。	→いいえ（g 参照）
↓はい	
ひかり電話が使えますか？ ※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。	→いいえ（h 参照）
↓はい	
本商品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（i 参照）
↓はい	
パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ （IP アドレスの確認方法は、4-4 ページ、8-4 ページ、8-5 ページをご覧ください）	→いいえ（j 参照）
↓はい	
Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されますか？	→いいえ（k 参照）
↓はい	
設定後、本商品前面の PPP ランプが緑点灯していますか？	→いいえ（l 参照）
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ(m 参照）
↓はい	
上記以外の症状が発生していますか？	→はい（n 参照）

a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症　状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

c.FAILランプが消灯していない

症　状	原因と対策
FAILランプが赤点灯する	●本商品に異常が発生しています。 本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

d.本商品前面のVDSLランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
VDSLランプが緑点滅する	●壁のモジュラージャックと本商品のVDSL LINEポートが正しく接続されていることを確認してください。 ●接続しているモジュラーケーブルVDSL LINE用（付属品／灰色）が正しいことを確認してください。 ●接続しているモジュラーケーブルVDSL LINE用（付属品／灰色）がショート、断線などしていないことを確認してください。 ●本商品と同時にインラインフィルタに接続したアナログ電話機をお使いの場合、アナログ電話機とインラインフィルタが正しく接続されているか確認してください。
VDSLランプが消灯する	●30秒間以上継続して消灯しているときは、本商品が故障しています。 本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

e.本商品前面の ACT ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ACT ランプが消灯する	●本商品側面カバー内のケーブル接続がされていない場合は、ACT ランプは消灯します。 この場合は、ひかり電話の機能、内蔵のルータ機能はご利用になれません。 ●本商品に異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

f.本商品前面の登録ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
登録ランプが消灯している	●ひかり電話の設定がされていません。そのまましばらくお待ちください。
登録ランプが消灯または緑点滅している	●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。数回再起動を行うことがございますが、電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。

g.本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

h.ひかり電話が使えない

症　状	原因と対策
ひかり電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●「接続可否番号一覧」（☛3-4 ページ）をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページでご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などである場合、または電話機の ACR 機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。 ●電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6 分～ 10 分程度ご利用できない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。

i.本商品背面の LINK ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
LINK ランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LAN ケーブル（付属品／緑色）が本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属している LAN ケーブル（付属品／緑色）をお使いください。 ●「Web 設定」の［詳細設定］－［高度な設定］で［LAN 側 MDI/MDI-X モード］を「自動設定」に設定してみてください。（初期値は「MDI-X 固定」です。） ●再度本書の「2-1　設置・接続」（☛2-2 ページ）をご覧の上、配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。

j.パソコンの IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを使用」になっていることを確認してください。 パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「8-1 パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧の上、再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b.「8-1 パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧の上、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

k.Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されない

症　状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「8-1 パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧の上、確認してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。（☛4-5 ページ） ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。（☛4-5 ページ） ●複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割り当てたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を入力しても「Web 設定」ページは開きません。Web ブラウザのアドレスに、プロバイダから本商品に割り当てられたグローバル IP アドレス（本商品の WAN 側 IP アドレス）（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。 ●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●「Web 設定」の［無線 LAN 設定］でポートセパレートを「使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	●「Web 設定」を行う際、「更新の確認に失敗しました。」「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」と表示された場合は、本商品が正しく回線に接続されていることを確認し、電源を入れ直してください。 ●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備が工事中のため本商品の設定はできません。 ●お客様のご利用環境によっては、「http://ntt.setup/」を入力しても「Web 設定」ページが表示されない場合があります。表示されない場合は、本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/ ※工場出荷時の場合）を入力してください。
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されない または操作が正常にできない	●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。（☛4-6 ページ、8-6 ページ） ●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」（☛1-8 ページ）をご覧の上、確認してください。

l.本商品前面の PPP ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
PPP ランプが消灯している	●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックし、接続したい接続先の情報（接続先ユーザ名、接続パスワード）が正しく入力されているか確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックし、［接続モード］を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPP ランプは消灯したままです。

m.インターネットに接続できない

症　状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●ネームサーバ（DNS サーバ）アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ（DNS サーバ）アドレスをプロバイダからの情報にしたがって「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックし、DNS サーバアドレスの欄に入力してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、そのネットワーク内に 192.168.1.xxx の IP アドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認します。（☛4-5 ページ） ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で、接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の【接続状態】が「接続中」となっていることを確認してください。

n.その他

症　状	原因と対策
その他の症状が発生している	●最新のファームウェアが適用されているか確認してください。（☛6-1 ページ） ●本商品の初期化および再設定を行ってください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

7-2 ご利用開始後のトラブル

ご利用開始後のトラブルについては、現在の症状をご確認の上、以下のページでその原因と対策をご覧ください。
症状が改善しない場合は、最新ファームウェアへのバージョンアップについてもお試しいただくことをお勧めします。（☛ 6-1 ページ）

症　状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
使用可能状態において突然「IPアドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●LAN 内に手動で設定している IP アドレスがあるかどうか確認してください。 ●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows ® の場合〉 ①［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本商品の電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。 10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。 パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れます。 起動後、「8-1 パソコンのネットワーク設定」（☛8-2 ページ）をご覧の上、再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b.次の手順で IP アドレスを取り直してください。 〈Windows ® の場合〉 ① [スタート]（Windows ® のロゴボタン）－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter］を押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。
初期状態ランプが橙点滅する	●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。
「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］設定変更時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	●LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）、もしくは接続先 IP アドレスと重複しています。 ［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。
「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックして、［IP アドレス］の設定変更時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	●LAN 側の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）が LAN 側の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。 ●ひかり電話の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者）にお問い合わせください。
「Web 設定」のトップページに IP アドレスが重複していると表示される	●画面中央部のメニューの階層表示の下に、「LAN 側 IP アドレスとひかり電話で使用する IP アドレスが重複しています。」と表示されている場合、LAN 側 IP アドレスがひかり電話の IP アドレスと重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。

症　状	原因と対策
「Web 設定」のトップページに IP アドレスが重複していると表示される	●画面中央部のメニューの階層表示の下に、LAN 側 IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先 IP アドレス（サブネット）が LAN 側 IP アドレスと重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。 ●画面中央部のメニューの階層表示の下に、ひかり電話で使用する IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレスと重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者）にお問い合わせください。
Web 設定できない	●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備が工事中のため本商品の設定はできません。
ハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」と音がする	●最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「＊＊＊11」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。（☛6-5 ページ）
ハンドセットを置いた後、すぐに着信音が鳴る	●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。 ●キャッチホンサービスやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
ひかり電話の音声品質が安定しない	●「Web 設定」の［電話設定］－［ひかり電話共通設定］の［音声優先モード］を「優先」または「最優先」に設定します。
インラインフィルタに接続したアナログ電話機が使用できない	●インラインフィルタと正しく接続されているか、接続しているポート（LINE ポート、PHONE ポート）は正しいか確認してください。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。
停電復旧後、ひかり電話が利用できない	●本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しているか確認してください。登録ランプが消灯、緑点滅している場合は、緑点灯になるまでお待ちください。しばらく待っても、ひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用ができませんので、電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のひかり電話ランプ、登録ランプが緑点灯します。
電話機からの設定がエラーとなる	●ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備が工事中のときは、「設定に失敗しました。再度設定してください」と音声ガイダンスが流れる場合があります。このとき、電話機からの設定は行えません。 ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください」と音声ガイダンスが流れます。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込音通知と合わせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	●本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。 IP 端末の機能および「通知番号」の設定方法は、IP 端末の取扱説明書などをご覧ください。

症　状	原因と対策
ファームウェアの更新ができない	●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。その場合は、使用後一定時間たってから再度ファームウェアの更新を行ってください。 ●本商品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
ファームウェア更新が突然実行される	●ネットワーク上の当社のサーバから緊急バージョンアップを要するファームウェアが提供された場合、ファームウェア更新種別の設定にかかわらず、強制的に最新のファームウェアへの更新を行います。 電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
アラームランプが赤点滅する	●「無線 LAN 簡単セットアップ」に失敗しています。 「「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない」を参照してください。(☛7-11 ページ) ●本商品の拡張カードスロットに「11N-ADP」のみが装着されています。本商品の拡張カードスロットには、「SC-40NE」を装着した「11N-ADP」を取り付けてください。
突然、再起動した	●当社のひかり電話設備の工事に伴い、自動的に再起動されることがあります。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
無線 LAN 通信ができない	●本商品の拡張カードスロットに無線 LAN カードが正しく装着されているか「5-2　本商品への無線 LAN カードの取り付け」(☛5-4 ページ)をご覧の上、確認してください。 ●暗号化方式で WEP をご利用になる場合、使用する WEP キー(キーインデックス)および WEP キー(WEP キー 1 ～ 4)の設定は本商品と接続する無線 LAN 端末との間で同じ設定としてください。(☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］－［使用する WEP キー(キーインデックス)］) ●本商品と接続する無線 LAN 端末の使用チャネルが一致していることを確認してください。使用する無線 LAN 端末によっては、12ch、13ch は使用できない場合があります。 自動設定でつながらない場合は無線 LAN 端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。 ●本商品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合は、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスフィルタリングのエントリに登録する必要があります。(☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－［無線 LAN 設定］－［MAC アドレスフィルタリング］－［接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレス編集］) ●本商品に IEEE802.11n 方式対応の無線 LAN 端末を接続する際、無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK(TKIP)または WPA2-PSK(TKIP)に設定していると接続できない場合があります。無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK(AES)または WPA2-PSK(AES)に変更するか、動作モードを IEEE802.11g 方式または IEEE802.11b 方式に変更して使用してください。 ●本商品に最新のファームウェアが適用されているか確認してください。(☛6-1 ページ) ●上記を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。

症　状	原因と対策
「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない	●本商品の拡張カードスロットに無線LANカードが正しく装着されていない →「5-2　本商品への無線LANカードの取り付け」(☛5-4ページ)をご覧の上、確認してください。 ●MACアドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっている →本商品のMACアドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっていると「無線LAN簡単セットアップ」の設定ができません。「Web設定」の［無線LAN設定］－［MACアドレスフィルタリング］でMACアドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ●本商品の無線LAN動作モードがIEEE802.11a固定になっている →無線LAN端末でIEEE802.11aに対応していない場合があります。「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の［無線LAN動作モード］で本商品の無線LAN動作モードを確認してください。 ●本商品の使用するWEPキー（キーインデックス）がWEPキー1になっていない →無線LAN端末でWEPキー2～4は対応していない場合があります。「Web設定」の［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の［使用するWEPキー（キーインデックス）］で本商品の無線の暗号化設定を確認してください。 ●本商品と無線LAN端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線LAN端末の取扱説明書などで使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本商品に設定してください。 ●本商品に他の設定を行っている →本商品の設定中は「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。他の設定が終了してから行ってください。 ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間内に設定を行っている →ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えない場合があります。 ひかり電話使用終了後一定時間たってから行ってください。 ●登録ランプが緑点灯していない →登録ランプが緑点灯していない場合は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。「7-1　設置に関するトラブル」(☛7-2ページ）を参照してください。設定中の「無線LAN簡単セットアップ」が完了していない場合は、登録ランプが緑点灯してから設定を行ってください。 ●2台以上のパソコンで無線LAN簡単接続機能を起動している →2台以上のパソコンで無線LAN簡単接続機能を起動している場合は、「無線LAN簡単セットアップ」の設定に失敗します。1台ずつ設定を行ってください。 ●Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンが接続できない。 →本商品の「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」を「しない」に設定する必要があります。(☛5-29ページ)またはパソコンで「ネットワークが名前(SSID)をブロードキャストしていない場合でも接続する」を有効にする設定(☛5-22、5-25、5-28ページ)を行ってください。
「らくらく無線スタート」が成功しない	●本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている →本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化を設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。 自動的に設定される設定値については、「① SSID-1に設定した場合」(☛5-30ページ）を参照してください。

7
故障かな?と思ったら

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
「らくらく無線スタート」が成功しない	●本商品に無線の暗号化がWPA2-PSKに設定されている →本商品の無線の暗号化がWPA2-PSKに設定された状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。無線LAN動作モードがIEEE802.11n方式、IEEE802.11g方式、およびIEEE802.11a方式に対応したゲーム機と接続する場合は、本商品のSSID-1の無線の暗号化設定を確認してください。無線LAN動作モードがIEEE802.11b固定のゲーム機と接続する場合は、本商品のSSID-2の無線の暗号化設定を確認してください。 ●インターネットに接続できていない →本商品前面のPPPランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線LAN簡単セットアップ」で無線LAN設定後、ゲーム機からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、「7-1　設置に関するトラブル」(☛7-2ページ)を参照して、本商品の接続や設定を確認してください。 ●本商品の「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」を「する」に設定し、SSID-1を「******」に設定している →本商品の「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」を「する」に設定し、SSID-1 を「******」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」を「しない」に設定するか、SSID-1を「******」以外に設定してください。 ●本商品のSSID-2を「使用しない」に設定している →本商品のSSID-2を「使用しない」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。SSID-2を「使用する」に設定してください。
他の対策を実施しても改善が見られない	●電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。

8 付録

8-1　パソコンのネットワーク設定 ……………… 8-2

8-2　ひかり電話用無線 IP 電話機などの
設定をする ……………………………………… 8-7

8-3　設定値の保存・復元 ………………………… 8-8

8-4　本商品の初期化 ……………………………… 8-10

8-5　ひかり電話以外のサービスとの
同時利用方法について …………………… 8-11

8-6　電話機からの設定一覧 …………………… 8-14

8-7　用語集 ………………………………………… 8-16

8-8　索引 …………………………………………… 8-22

8-9　仕様一覧 ……………………………………… 8-24

8-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCP サーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

・Windows® 7／Windows Vista® をご利用の場合
→ 4-3 ページをご覧ください。

・Windows® XP をご利用の場合
→ 8-3 ページをご覧ください。

・Mac OS X をご利用の場合
→ 8-5 ページをご覧ください。

パソコンに設定されている IP アドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。
本商品の IP アドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。
IP アドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］をご覧ください。

■ Web ブラウザの設定（Windows® のみ）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

・Windows® をご利用の場合
→ 4-5 ページをご覧ください。

■ JavaScript™ の設定確認

Web ブラウザで設定を行うには、JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。

・Windows® をご利用の場合
→ 4-6 ページをご覧ください。

・Mac OS X をご利用の場合
→ 8-6 ページをご覧ください。

Windows® XP をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

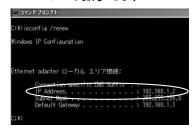
●本書では、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記載しています。

■IP アドレスの確認－パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、
「ipconfig /renew」と入力し、
［Enter］キーを押す

4 ［Ethernet adapter ローカルエリア接続：］が表示され、IP アドレス（IP Address）が［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxx は 2 ～ 254 の数字です）

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Mac OS X をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

Mac OS Xの設定により表示内容が異なる場合があります。

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 [Ethernet]を選択し、[構成]を[DHCPサーバを使用］にする

3 [DNSサーバ]と[検索ドメイン]を空白にして、[詳細]をクリックする

4 ［TCP/IP］タブをクリックし、［DHCPクライアントID］を空白にして、［OK］をクリックする

5 ［適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

■IPアドレスの確認 －パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

3 ［Ethernet］を選択し、IPアドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）

4 ウィンドウを閉じる

8
付録

JavaScript™ の設定をする（Mac OS X）

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。以下は Mac OS X をご利用の場合です。Windows® をご利用の場合は、4-6 ページをご覧ください。

※Web ブラウザの設定で、本商品の機器設定用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS X で Safari を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの［Safari］－［環境設定...］をクリックし、環境設定ウィンドウを表示する

3 ［セキュリティ］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5 をクリックして環境設定ウィンドウを閉じる

6 メニューバーの［Safari］から［Safari を終了］をクリックし、Safari を終了させる

8-2 ひかり電話用無線 IP 電話機などの設定をする

本商品の無線 LAN の設定情報を作成し、ひかり電話に対応したひかり電話用無線 IP 電話機などの無線 LAN の設定を行う際にご利用になれます。詳細は、フレッツ光を新規にお申込いただいた際にお送りしている冊子「超カンタン設定ガイド」をご参照ください。

8-3 設定値の保存・復元

「Web 設定」で現在の本商品の設定内容をファイルに保存および復元できます。
設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくと、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することも可能です。

設定値の保存

※「設定値の復元」を行うとき、その設定値の保存時に設定されていた機器設定用パスワード（☛4-8 ページ）が必要となります。機器設定用パスワードはお客様にて厳重に管理してください。

1. 「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を開く

2. メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］を選択する

3. ［ファイルに保存］をクリックし、［保存］をクリックする

4. ファイルの保存先を指定し、［保存］をクリックする

5. 「ダウンロード完了」画面が表示された場合は、［閉じる］をクリックする

設定値の復元

1. 「Web 設定」ページ「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス（http://192.168.1.1/　※工場出荷時の場合）を開く

2. メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］を選択する

3 ［設定値の復元］をクリックする

4 ［参照］をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定する

5 ［開く］をクリックする

6 ［復元実行］をクリックする

!

「Web 設定」画面に「設定値の復元が実施できません。」と表示された場合は、パスワードが間違っている可能性があります。
「設定値の復元」には、「設定値の保存」を行ったときの機器設定用パスワードが必要です。パスワード入力欄には、初期値として現在設定されている機器設定用パスワードが入力されていますので、保存時の機器設定用パスワードを入力し直してから、［復元実行］をクリックしてください。

7 ［OK］をクリックする

お願い

●設定内容を保存したファイルを指定した後に［Enter］キーを押すと、すぐに復元が実行される場合があります。
ファイルを指定した後は［Enter］キーを押さずに、［復元実行］をクリックしてください。

お知らせ

●ご契約の電話番号が変更・追加・削除になった場合、変更・追加・削除以前に保存した設定ファイルは使用しないでください。設定内容が正しく復元できない場合があります。
●機器設定用パスワードは復元されません。
●以下の設定値は復元されない場合があります。復元の操作後に必ず設定内容を確認してください。
- ・無線ネットワーク名（SSID）
- ・事前共有キー（PSK）
- ・WEP キー
- ・無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）
- ・ファームウェア更新種別

●お客様のご利用環境によっては設定値の保存・復元の際には時間がかかる場合があります。

8-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または機器設定用パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化してはじめから設定し直すことをお勧めします。
「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」の［メンテナンス］－［設定値の初期化］をご覧ください。
いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定が行われます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。

■設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1. いったん本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く
2. 本商品背面の初期化スイッチを押した状態で電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む（アラームランプが消灯するまで初期化スイッチを押し続ける）
   起動後、初期状態ランプが橙点灯、登録ランプが緑点滅または緑点灯になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
故障の原因となることがあります。

お知らせ

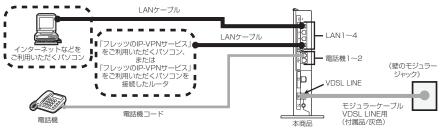
- 本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却される場合は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。
- いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻ります。設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくことをお勧めします。

8-5 ひかり電話以外のサービスとの同時利用方法について

「フレッツの IP-VPN サービス」※との同時利用方法について

「フレッツ・グループアクセス（NTT 東日本）」を同時にご利用いただく場合、または「フレッツ・オフィス（NTT 東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT 東日本）」、「フレッツ・VPN ゲート（NTT 東日本／ NTT 西日本）」、「フレッツ・VPN ワイド（NTT 東日本／ NTT 西日本）」に同時に接続する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますのでご確認ください。

※「フレッツの IP-VPN サービス」とは B フレッツでご利用のお客様専用のサービスの、「フレッツ・グループアクセス（NTT 東日本）」、「フレッツ・オフィス（NTT 東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT 東日本）」および、フレッツ光ネクストでご利用のお客様専用サービスの「フレッツ・VPN ゲート（NTT 東日本／ NTT 西日本）」、「フレッツ・VPN ワイド（NTT 東日本／ NTT 西日本）」の総称です。

「フレッツのIP-VPNサービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサービスコンセプトとしており、1台のルータ・パソコンでVPN接続とインターネット接続を同時に利用しないことを推奨しておりますので、ひかり電話をご利用の場合は、以下の接続設定を行ってください。

◆接続設定について

①「フレッツのIP-VPNサービス」の接続設定を行う

【1台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。

【複数台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」の接続先を設定したブロードバンドルータを、本商品の下部（LANポート）に接続し、そのブロードバンドルータ下部（LANポート）に「フレッツのIP-VPNサービス」ご利用のパソコンを接続してください。

②インターネットなどの接続設定を行う

Webブラウザの設定画面から、本商品に接続先を設定してください。

【ご利用上の注意事項】

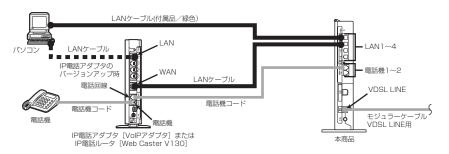
・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっておりますので、本機能の設定変更は行わないでください。
・セッション数の上限は、お客様のご契約状況により異なります。

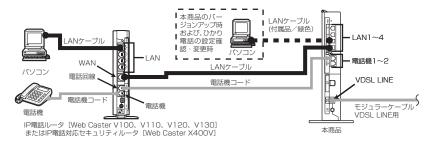
050IP 電話との同時利用方法について

ひかり電話と 050IP 電話サービスを同時にご利用いただく場合

プロバイダが提供する IP 電話サービス（050 番号を利用する IP 電話サービス。以下、「050IP 電話」と略します）とひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず次ページの内容をご確認ください。

① IP 電話アダプタをご利用の場合　　機器構成 1 − ①

※ IP 電話アダプタ（VoIP アダプタ）、IP 電話ルータ（Web Caster V130）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

② IP 電話ルータ・IP 電話対応セキュリティルータをご利用の場合　　機器構成 1 − ②

※ IP 電話ルータ（Web Caster V100 ／ V110 ／ V120 ／ V130）、IP 電話対応セキュリティルータ（Web Caster X400V）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

【ご利用上の注意事項】

前ページの構成でひかり電話と 050IP 電話をご利用いただく場合、以下の点にご注意ください。
ご利用の機器構成ごとにご注意いただく事項が異なりますので、下記「対象となる機器構成」欄にてご利用の機器構成をご確認いただき、「★」が記載されている場合に該当する注意事項をご確認ください。

対象となる機器構成		注意事項
1 −①	1 −②	
	★	**（1）インターネット接続の設定方法に注意してください。** インターネット接続の設定（プロバイダから提供される接続先ユーザ名・接続パスワードなど）は、IP 電話ルータまたは IP 電話対応セキュリティルータにて行ってください。本商品には設定しないでください。 パソコン / IP電話ルータまたは IP電話対応セキュリティルータ：インターネット接続の設定を行う / 本商品：インターネット接続の設定は行わない ※ インターネット接続の方法は、IP 電話ルータまたは IP 電話対応セキュリティルータの設定ガイドをご覧ください。 ※ パソコンは IP 電話ルータまたは IP 電話対応セキュリティルータに接続してください。（本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。）
★	★	**（2）本商品の「バージョンアップお知らせ機能」の一部がご利用いただくことができません。** 050IP 電話と同時利用する場合は、電話機から本商品のバージョンアップ通知音は聞こえません。IP 電話アダプタおよび IP 電話ルータ／ IP 電話対応セキュリティルータのファームウェアのバージョンアップお知らせのみとなります。 本商品の［ファームウェア更新種別］を「自動更新」に設定するなどしてバージョンアップを実施することをお勧めします。 ※ 1-①の機器構成の場合、IP 電話アダプタのファームウェア更新があるときは、更新作業時のみ IP 電話アダプタにパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成） ※ 1-②の機器構成の場合、パソコンからバージョンアップするときは更新作業時のみ本商品にパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成）
★	★	**（3）「ひかり電話」と「050IP 電話」の使い分けにご注意ください。（050IP 電話ご利用時）** 050IP 電話で接続できない番号（110・119 など）以外は、すべて 050IP 電話での発信となります。「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信してください。その他の 050IP 電話ご利用上の注意については、IP 電話アダプタおよび IP 電話ルータ／ IP 電話対応セキュリティルータの取扱説明書などをご確認ください。 （「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み替えてください。）
	★	**（4）本商品の「PPPoE ブリッジ」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「PPPoE ブリッジ」が「使用する」設定となっております。本機能の設定変更は行わないでください。
★		**（5）本商品の「UPnP 機能」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「UPnP 機能」が「使用する」設定となっております。前ページの機器構成 1-①にてご利用いただく場合は、本機能の設定変更は行わないでください。

8-6 電話機からの設定一覧

電話機から設定する場合の機能番号一覧を紹介します。
本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。
【ひかり電話の設定】
電話機からひかり電話の設定ができます。

●ひかり電話共通設定

機能番号	設定項目　＊機能番号＊	設定値・設定内容	操作終了
00	音声優先モード		
	＊＊＊⑨⓪　＊　⓪⓪　＊	①：使用しない ②：優先 ③：最優先 ④：自動	##
01	優先着信ポート		
	＊＊＊⑨⓪　＊　⓪①　＊	①：電話機１ポート ②：電話機２ポート ③：無効	##
02	アナログポート無効化		
	＊＊＊⑨⓪　＊　⓪②　＊	①：この設定を行う電話機と異なる電話機ポートを利用できなくする ②：電話機１、２ポート共に利用可能とする	##

●内線設定（アナログ端末）

機能番号	設定項目　ポート番号　＊機能番号＊	設定値・設定内容	操作終了
91	ナンバー・ディスプレイ		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨① ＊	①：使用する ②：使用しない	##
92	モデムダイヤルイン		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨② ＊	①：使用する ②：使用しない	##
93	割込音通知		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨③ ＊	①：使用する ②：使用しない	##
94	着信番号		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨④ ＊	（着信番号）	##
95	指定着信機能		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨⑤ ＊	（着信番号）＊（指定着信番号）	##
96	キャッチホン・ディスプレイ		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨⑥ ＊	①：使用する ②：使用しない	##
97	ダイヤル桁間タイマ		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨⑦ ＊	④：４秒 ⑤：５秒 ⑥：６秒 ⑦：７秒 ⑧：８秒	##
98	エコー・キャンセラ		
	＊＊＊⑨⑨ ①または② ＊ ⑨⑧ ＊	①：使用する ②：使用しない	##

機能番号	設定項目　　ポート番号　㊍機能番号㊍	設定値・設定内容		操作終了
00	通知番号			
	㊍㊍㊍⑨⑨ ①または② ㊍ ⓪⓪ ㊍	（通知番号）		⊞⊞
01	内線番号			
	㊍㊍㊍⑨⑨ ①または② ㊍ ⓪① ㊍	（内線番号）		⊞⊞
02	着信音選択			
	㊍㊍㊍⑨⑨ ①または② ㊍ ⓪② ㊍	（着信番号） ㊍	① IR	⊞⊞
			② SIR	

【無線 LAN の設定】
電話機から無線 LAN の設定を変更することができます。

機能番号	設定項目	㊍	設定値・設定内容	操作終了
–	無線ネットワーク名(SSID)と暗号化設定			
	㊍ ㊍ ㊍ ⓪ ①	㊍	①：SSID-1 の設定	⊞⊞
			②：SSID-2 の設定	
–	無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽（ANY 接続拒否）			
	㊍ ㊍ ㊍ ⓪ ②	㊍	①：する	⊞⊞
			②：しない	
–	無線 LAN 動作モード（SC-32SE または SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI のいずれかをご利用の場合）			
	㊍ ㊍ ㊍ ⓪ ②	㊍	③：IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換にする	⊞⊞
			④：IEEE802.11a 固定にする	
–	無線 LAN 動作モード（SC-40NE をご利用の場合）			
	㊍ ㊍ ㊍ ⓪ ②	㊍	③：IEEE802.11b/g/n 互換にする	⊞⊞
			④：IEEE802.11b/g 互換にする	

●らくらく無線スタート、無線 LAN 簡単接続機能を起動する

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
–	おまかせモード（らくらく無線スタート&無線 LAN 簡単接続機能）の起動		
	㊍ ㊍ ㊍ ⓪ ⓪	–	–

【バージョンアップの設定】
バージョンアップのお知らせ機能を利用してバージョンアップすることができます。

●ファームウェア更新種別を設定する

機能番号	設定項目	更新種別	㊍	設定値・設定内容		操作終了
–	自動更新					
	㊍ ㊍ ㊍ ⑧ ⑧	②：一定量データ通信監視有効	㊍	⓪ ⓪ ～ ② ③ の 2 桁 （24 時間を 2 桁で入力します。）		⊞⊞
		③：一定量データ通信監視無効	㊍			
–	手動更新					
	㊍ ㊍ ㊍ ⑧ ⑧	⑨：手動更新	㊍	①：再起動更新「有効」		⊞⊞
				②：再起動更新「無効」		

●バージョンアップ方法（「手動更新」の場合）

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
–	バージョンアップ		
	㊍ ㊍ ㊍ ① ①	–	–

8-7 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

用語	説明
AES	Advanced Encryption Standardの略。 WPA-PSK ・ WPA2-PSKで使用する暗号化方式の1つ。AESはTKIPやWEPと比べて、より解読されにくいものになっている。
ANY接続拒否	無線LAN端末からのANY接続（どの無線LANアクセスポイントにも接続できる特殊なSSID）を拒否する機能。
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocolの略。 PPPで接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴がある。 RFC1994で仕様が公開されている。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略。 TCP/IPプロトコルを使用する各機器は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。DHCPは、IPアドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合、IPアドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IPアドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。
DHCPクライアント	DHCP サーバによりIPアドレスを割り当てられるネットワーク機器などのこと。
DHCPサーバ	DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するネットワーク機器などのこと。
DMZ	DeMilitarized Zone の略。 不正アクセスを防ぐファイアウォールの内側にあり、外部（WAN側）とも内部（LAN側）とも切り離された区域のこと。
DNS	Domain Name Systemの略。 IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
DNSサーバ	ドメイン名とIPアドレスとの対応表を持っており、ドメイン名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバ。
IEEE802.11a	無線LANの規格の1つ。 5.2GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大54Mbps。
IEEE802.11b	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で11Mbps。
IEEE802.11g	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で54Mbps。

IEEE802.11n	無線LANの規格の1つ。 2.4GHz/5GHzの周波数帯域を利用し、伝送速度は最大で300Mbps。（アンテナ2本利用時） 本商品では2.4GHz のみ利用可能。
IP	Internet Protocolの略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。
IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32 bitの値をもち、8 bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。（例： 192.168.1.10）
IPマスカレード	NAT（IPアドレス変換）機能の1つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側IPアドレスに対して複数のLAN側の端末を接続することが可能となる機能。
LAN	Local Area Networkの略。 1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア（LANカードなど）につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MACアドレスフィルタリング	無線LAN通信において通信が可能な端末をMACアドレスで指定し、通信を受けたくない無線LAN端末などからの通信を防ぐ機能。
PAP	Password Authentication Protocolの略。 PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。RFC1334で仕様が公開されている。パスワードによってユーザが偽装かどうか識別する。
PING	端末間の接続が正常に行えるかどうかを試験するプログラム。
PPP	Point to Point Protocolの略。 遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線やINSネット64回線などを使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	Point to Point Protocol over Ethernetの略。 ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。Ethernet上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者の接続先ユーザ名や接続パスワードのチェックを行う。

SIP	Session Initiation Protocolの略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの 1 つ。 RFC3261 で仕様が公開されている。
TCP	Transmission Control Protocolの略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。 インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 WPA-PSK ・ WPA2-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。 TKIP は、WEP でも使用されている RC4 という暗号化アルゴリズムを採用している。
UPnP	Universal Plug and Play の略。 パソコンや周辺機器、AV 機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のこと。
VDSL	Very high-bit-rate Digital Subscriber Line または Very high-speed Digital Subscriber Line の略。 電話回線を使用する高速データ通信で、利用者側は、すでに一般家庭に普及している電話回線を用意するだけでよいが、経路の一部に光ファイバを利用する。
VoIP	Voice over Internet Protocolの略。 インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。
VPN	Virtual Private Network の略。 インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術によって構築された、仮想プライベートネットワークのこと。
WAN	Wide Area Networkの略。 地理的に離れた地点にあるパソコン同士を電話回線や専用回線で接続し、データをやり取りするネットワーク。
Web ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer® がよく使われている。

WEP	Wired Equivalent Privacy の略。 ユーザが指定した任意の文字列（WEP キー）を本商品と無線 LAN 端末に登録することによって、WEP キーが一致した場合のみ通信できるようになる。
WEP キー	WEP で用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録した上で通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Access の略。 通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA2	Wi-Fi Protected Access2 の略。 WPA の新バージョンで、AES 暗号化に対応した WPA より強固な暗号化方法。
WPA-PSK/WPA2-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key/Wi-Fi Protected Access2 Pre-Shared Key の略。 WPA/WPA2 セキュリティ設定の認証方式の 1 つ。Pre-Shared Key を使うと、認証サーバを用意しなくても WPA/WPA2 セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK/WPA2-PSK には、AES や TKIP などの暗号化がある。
10BASE-T	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、10 Mbps の伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbps の伝送速度をもつ。

【あいうえお順】
【あ行】

イーサネット（Ethernet）	LAN の通信方式。10BASE-T や 100BASE-TX などの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線 LAN 端末から無線 LAN アクセスポイントを経由して行う無線 LAN の通信。

【か行】

回線終端装置	デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置。フレッツ 光ネクスト／ B フレッツでは ONU（Optical Network Unit）などを指す。
クライアント	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
ゲートウェイ	プロトコルの異なる LAN 同士や LAN と WAN とを接続する装置。

【さ行】

サーバ	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上では Web サーバがホームページ情報を提供する。
サブネット	大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IP アドレスは、所属するサブネットのアドレス(ネットワークアドレス)と、サブネット内での端末のアドレス(ホストアドレス)から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。
自動設定	本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができる。
自動設定サーバ	本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。
静的 IP マスカレード	IP マスカレード使用時に、設定したポート番号の動的な変換を行わないようにする機能で、LAN 側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
セッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】

チャネル	無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線 LAN を狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャネル同士の帯域が重ならないような使用を推奨する。
ドメイン	「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード	コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。 パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。

ひかり電話	NTT東日本／NTT西日本提供のIP電話サービス。
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
ファイアウォール	外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。 LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。
フレッツ・スクウェア	フレッツサービスをご利用のお客様専用のサイト。
フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト	フレッツサービスに関するサポート情報を提供するサイト。
プロキシサーバ	各装置からプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通信を確立させるサーバ。
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。
プロバイダ	インターネットの接続サービスを提供している事業者。
ポートセパレート	暗号化方式をWEPまたは暗号化なしで設定している無線LAN端末から、本商品の「Web設定」へのアクセスおよび本商品のLAN側に接続されている無線LAN端末へのアクセスを制限する機能。
ポート番号	TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

マルチセッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。
無線LANアクセスポイント	有線LANとインフラストラクチャ通信に設定した無線LAN端末との通信の中継や、無線LAN端末同士の通信の管理を行う。
無線ネットワーク名(SSID)	SSIDはService Set Identifierの略。 無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。 単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名（SSID）を設定して使用する。

【ら行】

らくらく無線スタート	無線LANアクセスポイントとゲーム機などとの無線LAN設定を電話機やパソコン、らくらくスタートボタンから簡単に行うことができる機能。
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
ルーティング	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

8-8 索引

CD-ROM の付いている用語は「機能詳細ガイド」に記載されています。

[数字]

10/100BASE-T ランプ ……1-7

[A ～ Z]

ACT ランプ ……1-5、3-2
ANY 接続拒否 ……5-29、8-16、CD-ROM
FAIL ランプ ……1-5、1-6
IP アドレス ……4-4、8-4、8-5、8-17、CD-ROM
　IP アドレスの確認
　　Mac OS X ……8-5
　　Windows® 7/Windows Vista® …4-4
　　Windows® XP ……8-4
IP マスカレード ……8-17、CD-ROM
JavaScript™ ……4-6、8-6
LAN ケーブル ……1-2、1-3
LAN ポート ……1-7、8-24
　パソコンの LAN ポート ……1-8
LINK ランプ ……1-7
PPP ランプ ……1-5
PSK ……5-30
RV-S340SE 機能設定ガイド
……22、23、1-2、1-3
TKIP ……8-18
UPnP ……8-18、CD-ROM
VDSL LAN ポート ……8-24
VDSL LINE ポート ……1-7、8-24
VDSL ランプ
……1-5、1-6、3-2
VPN パススルー ……CD-ROM
WAN → LAN 中継機能 ……CD-ROM
Web 設定 ……4-8、CD-ROM
Web ブラウザ ……1-8、4-5、8-18
WEP ……5-30、8-19、CD-ROM
WPA-PSK/WPA2-PSK ……8-19
WPA-PSK（TKIP）……5-30

[あ行]

アラームランプ ……1-5、1-6
一斉着信 ……3-13
お客様サポート ……裏表紙

[か行]

拡張カードスロット ……1-7、5-4、5-5
各部の名前 ……1-5
壁に取り付ける ……2-3、2-5
機器設定用パスワード ……4-8
機能詳細ガイド ……23
キャッチホン ……3-6
キャッチホン・ディスプレイ ……3-12
クライアント ……8-19、CD-ROM
故障かな？と思ったら ……7-1
個別着信 ……3-13
ご利用開始後のトラブル ……7-7

[さ行]

サーバ ……8-20、CD-ROM
事前共有キー（PSK）……5-30
指定着信機能 ……3-16
仕様一覧 ……8-24
初期化 ……8-10
初期化スイッチ ……1-7、8-10
初期状態ランプ ……1-5、1-6、8-24
スタンド ……1-2、1-3、2-2、2-3
静的 IP マスカレード ……8-20、CD-ROM
静的 NAT ……CD-ROM
接続 ……2-7
　インターネットに～する ……4-11
　電源を～する ……2-8、2-10、2-12
　電話機を～する ……2-7、2-9、2-11
　フレッツ・スクウェアに～する ……4-12
　本商品とパソコンの～を確認する
　……4-4、8-4、8-5
接続先ユーザ名 ……4-9、CD-ROM
接続パスワード ……4-9、CD-ROM
設置する ……2-2
設置に関するトラブル ……7-2
設定一覧 ……3-29
設定する
　JavaScript™ ……4-6、8-6
　Web ブラウザ ……4-5
　「Web 設定」で～
　……4-8、5-12、5-18、5-26、CD-ROM
　ゲーム機との無線 LAN の～ ……5-14
　電話機から～ ……5-11、5-16、5-23
　電話機から無線 LAN 動作モードを～
　……5-29
　電話機から無線ネットワーク名（SSID）
　　の隠蔽（ANY 接続拒否）を～ …5-29
　電話機から無線ネットワーク名
　　（SSID）と暗号化を～ ……5-29
　電話機からひかり電話を～ ……3-27
　内線番号 ……3-11

パソコンからひかり電話を～ ………3-18
パソコンからネットワークを～
Mac OS X …………………………8-5
Windows® 7/Windows Vista® …4-3
Windows® XP ……………………8-3
ひかり電話用無線IP電話機などを～ …8-7
複数の電話機での同時着信や
使い分けを～ ………………………3-33
本商品の設定…………………………4-8
無線LAN ……………………………5-2
無線LANカード ……………………5-6
無線LAN簡単接続機能
…………………………5-10、5-20、CD-ROM
無線LAN簡単セットアップ
………1-6、5-12、5-18、5-26、CD-ROM
「らくらくスタートボタン」で
……………………5-10、5-14、5-20
設定値
復元……………………………………8-8
保存……………………………………8-8
セットの確認…………………………1-2

[た行]

対応OSの確認………………………1-8
ダブルチャネル／複数チャネル…………3-9
着信鳴り分け ………………………3-13
電源アダプタ ………………1-2、1-3
電源アダプタ端子……………………1-7
電源ランプ …………………1-5、3-2
電子マニュアル ……………22、23
電話機ポート ………………1-7、8-24
登録ランプ ……………1-5、1-6、3-2

[な行]

内線通話………………………………3-5
内線転送………………………………3-5
内線番号設定 ………………………3-11
ナンバー・ディスプレイ………………3-8

[は行]

バージョンアップ……………………6-1
当社ホームページよりファイルを
ダウンロードして～する……………6-6
バージョンアップお知らせ機能を
利用して～する……………………6-3
パケットフィルタリング ………………CD-ROM
パソコンの準備………………………1-8
発信者情報（番号）の通知……………3-9
ひかり電話
受けかた………………………………3-3
かけかた………………………………3-2
接続可否番号一覧……………………3-4
設定…………………3-18、3-27、3-33
使いかた ……………………3-2、3-11
電話番号 ……………………………3-11
発着信できるサービス………………3-4
ひかり電話以外の
サービスとの同時利用 ……………8-11
付加サービス…………………………3-6
ひかり電話ランプ
……………1-5、2-8、2-10、2-12、3-2
ファームウェア情報の確認……………6-8
フッキング ………………………3-5、3-7
フレッツ・スクウェア ………4-12、8-21
フレッツのIP-VPNサービス …………8-11
ポートセパレート ………………8-21、CD-ROM

[ま行]

マイナンバー／追加番号 ……………3-10
マルチセッション ………………8-21、CD-ROM
無線LANカード …1-4、5-4、5-5、5-6
設定……………………………………5-6
取り付け ……………………5-4、5-5
取り外す ……………………5-4、5-5
無線LANの設定 ……5-10、5-14、5-20
無線LANポート ……………………8-24
無線ネットワーク名（SSID）
……………………5-29、5-30、8-21
メディア変更機能 ……………………3-17
モジュラーケーブル ……………1-2、1-3
モデムダイヤルイン …………………3-14

[や行]

優先着信ポート ……………………3-14
用語集 ………………………………8-16

[ら行]

らくらくスタートボタン
………………1-7、5-10、5-14、5-20
らくらく無線スタート ………5-14、8-21
ランプの確認…………………………3-2
ランプ表示 ………1-5、1-6、1-7、8-24

[わ行]

ワークグループ名 ……………………CD-ROM
割込音通知 …………………………3-12

8
付録

8-9 仕様一覧

■ RV-S340SE

■ ハードウェア仕様		
項　目		仕　様
VDSL LINE ポート	インタフェース	VDSL
	伝送線路	2W メタリックケーブル
	変調／多重方式	DMT 変調／ FDD 方式
	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック（RJ-11）
	通信速度	下り最大 100Mbps、上り最大 100Mbps　対称伝送
VDSL LAN ポート	インタフェース	100BASE-TX ／ 10BASE-T（IEEE802.3u ／ IEEE802.3）オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）
LAN ポート	インタフェース	100BASE-TX ／ 10BASE-T（IEEE802.3u ／ IEEE802.3）オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	4 ポート（スイッチングハブ内蔵）
無線 LAN ポート※ 1	インタフェース	PC Card Standard（CardBus）Type Ⅱ準拠
	スロット数	1 スロット
電話機ポート	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	2 ポート
	供給電圧	約－ 48 V（無負荷時）
ランプ表示	電源ランプ	電源通電時：緑点灯
	アラームランプ	装置障害時：赤点灯 「無線 LAN 簡単セットアップ」設定失敗時：赤点滅
	PPP ランプ	1 セッション接続中：緑点灯、2 セッション以上接続中：橙点灯
	ひかり電話ランプ	ひかり電話利用可能時：緑点灯、 ひかり電話通話中／着信中／呼び出し中：緑点滅
	ACT ランプ	ひかり電話機能／ルータ機能利用可能時：緑点灯、 ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中：緑点滅
	登録ランプ	ひかり電話設定完了時：緑点灯、 ひかり電話設定中：緑点滅 「無線 LAN 簡単セットアップ」設定中：緑点滅／橙点滅 「無線 LAN 簡単セットアップ」設定完了時：橙点灯
	初期状態ランプ	工場出荷状態：橙点灯、IP アドレス重複時：橙点滅
	VDSL ランプ	VDSL 回線リンク確立時：緑点灯 VDSL 回線トレーニング時／データ通信時：緑点滅
	FAIL ランプ	装置障害時：赤点灯
操作部	初期化	設定初期化用スイッチ
	らくらくスタート	無線 LAN 簡単セットアップ用など
筐体外観		縦置き壁掛け両用型
動作環境		温度：0 ～ 40 ℃　湿度：5 ～ 80 %　（結露しないこと）
外形寸法	本体が黒色の場合	約 40（W）× 171（D）× 236（H）mm（突起部分を除く）
	本体が灰色の場合	約 40（W）× 175（D）× 238（H）mm（突起部分を除く）
電源		AC100 V（50/60 Hz）
消費電力		最大 24 W
質量		約 0.7 kg 以下（電源アダプタ含まず）
電磁妨害波規格		VCCI クラス B

※ 1　本商品専用の無線 LAN カード（SC-32SE、SC-32NE、SC-32KI、SC-32HI、SC-40NE）のみご利用いただける拡張カードスロットです。

■ ソフトウェア仕様

項　目		仕　様
ルータ機能	WAN プロトコル	PPPoE（PPP over Ethernet）
	PPP 認証	自動認証（CHAP/PAP）／CHAP 固定／PAP 固定
	PPP 接続／切断	常時接続（自動接続）／要求時接続（無通信時切断機能あり）
	接続先数	登録：５箇所、同時接続：５箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大 150 件）
	DHCP サーバ機能	あり（最大 253 アドレス割当）
	DNS Proxy 機能	あり
	NAT 機能	IP マスカレード：最大 4096 セッション、 静的 NAT：最大 64 アドレス
	静的 IP マスカレード	あり
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	あり
	複数固定 IP サービス対応機能	あり
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元 IP アドレス、宛先 IP アドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能、登録：128 件
	SPI 機能	TCP タイムアウト、UDP タイムアウト、ICMP タイムアウト設定可能
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoE パケット、IPv6 パケット
VoIP 機能	接続手順	SIP
	音声 CODEC	ITU-T G.711 μ-law
	エコー・キャンセラ	ITU-T G.168
設定・保守機能	設定方法	Web ブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	回線状態、WAN 側 IP アドレス、バージョン情報他
	ログ機能	あり
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Web ブラウザを使用、電話機を使用※１

※１　電話機を使用して設定・保守機能をご利用になるためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

■ ソフトウェア仕様（無線LAN）

項　目		仕　様	
無線LAN機能（拡張カードスロットに無線LANカード（SC-32SE ※1）を装着した場合）	IEEE802.11a (W52)	周波数帯域／チャネル	5.2 GHz帯(5150 〜 5250 MHz)／36、40、44、48ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度（※2）	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps（自動切換）
	IEEE802.11b	周波数帯域／チャネル	2.4 GHz帯(2400 〜 2484 MHz)／1 〜 13ch
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度（※2）	11/5.5/2/1 Mbps（自動切換）
	IEEE802.11g	周波数帯域／チャネル	2.4 GHz帯(2400 〜 2484 MHz)／1 〜 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度（※2）	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps（自動切換）
	アンテナ	ダイバーシティ方式	
	セキュリティ	「SSID」、「WEP(152bit)」、「WEP(128bit)」、「WEP(64bit)」、「WPA-PSK(TKIP)」、「WPA-PSK(AES)」、「WPA2-PSK(TKIP)」、「WPA2-PSK(AES)」、「WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP/AES)」、無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY 接続拒否)、MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート	

※1　SC-32NE/SC-32KI/SC-32HIを装着した場合も含みます。

※2　本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="2">仕　　様</th></tr>
<tr><td rowspan="11">無線LAN機能（拡張カードスロットに無線LANカード（SC-40NE）を装着した場合）</td><td rowspan="3">IEEE802.11b</td><td>周波数帯域／チャネル</td><td>2.4 GHz帯（2400 ～ 2484 MHz）／1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度（※ 1）</td><td>11/5.5/2/1 Mbps
（自動切換）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11g</td><td>周波数帯域／チャネル</td><td>2.4 GHz帯（2400 ～ 2484 MHz）／1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>OFDM（直交周波数分割多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度（※ 1）</td><td>54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps
（自動切換）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11n</td><td>周波数帯域／チャネル</td><td>2.4 GHz帯（2400 ～ 2484 MHz）／1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>OFDM（直交周波数分割多重）方式
MIMO（空間多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度（※ 1）</td><td>[HT20]
144.4/130/117/104/78/72.2/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps
[HT40]
300/270/243/216/162/150/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps
（自動切換）</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="2">ダイバーシティ方式</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="2">「SSID」、「WEP（128bit）」、「WEP（64bit）」、
「WPA-PSK（TKIP）」、「WPA-PSK（AES）」、
「WPA2-PSK（TKIP）」、「WPA2-PSK（AES）」、
「WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）」、
無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）、
MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート</td></tr>
</table>

※ 1　本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

8 付録

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：
[NTT東日本］http://web116.jp/ced/
[NTT西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

●お客様サポートについて

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品を利用した基本的なインターネット接続設定について
フレッツ光を新規にお申込いただいた際にお送りしております「設定用CD-ROM」のご利用により、本商品の基本的なインターネット接続設定が簡単に実施可能です。
ご利用には「設定用CD-ROM」が添付された冊子「超カンタン設定ガイド」をご覧いただくか、下記までお問い合わせください。
お問い合わせ先：**0120−275466**（10:00〜18:00 年中無休）
※携帯電話からご利用の場合
0570−064074（通話料金がかかります）
※PHS・050IP電話からはご利用いただけません。

●本商品の詳細なお取扱いに関するお問い合わせ（9:00〜17:00）
お問い合わせ先：FREE フリーアクセス **0120−970413**
※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合
03−5667−7100（通話料金がかかります）
※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ （24時間 年中無休）
お問い合わせ先：**0120−000113**
※携帯電話・PHSからも利用可能です。
※17:00〜翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理などの対応時間は 9:00〜17:00 です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品のお取扱い、および故障に関するお問い合わせ
お問い合わせ先：FREE フリーアクセス **0120−248995**
※携帯電話・PHSからも利用可能です。

受付時間：
・本商品のお取扱いに関するお問い合わせ：9:00〜17:00
※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。
・故障に関するお問い合わせ：24時間 年中無休
※17:00〜翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理などの対応時間は 9:00〜17:00 です。

お問い合わせ時には、フレッツ光を新規にお申込いただいた際にお送りしております「開通のご案内」をご用意ください。
また、インターネット接続の設定をしている場合は、ご契約のプロバイダ資料についてもご用意ください。
なお、電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2934-14 (2012.6)
RV-S340SEトリセツ